

令和2年度

事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉法人



北九州市社会福祉協議会

目 次

事業の総括	1
事業実施概要	
基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう	3
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう	8
基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	13
組織体制の強化・常設委員会	18
事業別実施内容	
総務部関連	
会務運営	19
賛助会員の加入促進	21
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	21
民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業	21
広報紙の発行事業	22
寄贈品の提供事業	22
助成金の情報提供等事業	22
障害者就労支援施設への支援事業	22
子どもの居場所づくり応援基金事業	23
収益事業	23
令和2年豪雨災害に関する支援活動	25
施設部関連	
ウエルとばた運営事業	26
地域福祉部・生活支援部関連	
住民による地域づくり事業	30
生活支援体制整備事業	38
地域生活支援活動推進事業	41
北九州市社会福祉大会	43
生活福祉資金	44
民間社会福祉事業従事者共済事業	46
各施設協議会等との連携	47
民生委員互助共励事業	49
生活困窮者自立相談支援事業	50
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	53
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	54
介護サービス相談員派遣事業	55
認知症サポーターキャラバン事業	59
高齢者見守りサポーター派遣事業	61
高齢者地域交流支援通所事業	64
健康マイレージ事業	69
権利擁護・市民後見部関連	
地域福祉権利擁護事業	73
法人後見事業	78
市民後見人養成・支援事業	80
ボランティア・市民活動センター関連	
ボランティア振興事業	84

	社会福祉ボランティア大 학교事業	94
北九州シニアネットワークアカデミー関連	北九州シニアネットワークアカデミー事業	98
	1 周望学舎事業	98
	2 穴生学舎・穴生ドーム事業	103
	3 地域活動情報支援センター	109
全部署共通	常設委員会	111
区事務所	門司区事務所運営事業	114
	小倉北区事務所運営事業	116
	小倉南区事務所運営事業	119
	若松区事務所運営事業	121
	八幡東区事務所運営事業	123
	八幡西区事務所運営事業	125
	戸畑区事務所運営事業	128

事業の総括

北九州市地域福祉活動第五次計画「住民ふくしの元気プラン 2016～2020」の最終年度にあたる本年度は、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、複雑・多様化する地域福祉課題の解決に取り組みました。

なかでも、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大による経済・社会的な影響を受け、収入減や失業等で一時的に困窮する方々への生活福祉資金特例貸付には多くの相談・申込みがあったところです。

地域福祉活動や市民活動の分野では、一人暮らし高齢者の生活を支える見守り活動や、地域の交流の場であるサロン活動など、これまで支援の必要な方に寄りそい活動を進めてきたものから、感染リスクを抑えるための取り組みへと変化を余儀なくされました。

多人数の集会が制限される中では、オンライン等を活用し情報発信することで、新たな参加者・協力者の確保につながりました。

また、災害時の対応については、被災地に本会職員を派遣することで、コロナ禍における災害支援について学ぶ機会となり、本年度実施した関係機関・団体の参加による災害ボランティアセンター設置・運営訓練に役立てることができました。

本会としても、新たな地域福祉課題に対応していくために、校(地)区社会福祉協議会、関係機関・団体、社会福祉法人・福祉施設、企業、ボランティア、行政等とともに、今後5年間の地域福祉活動の指針となる北九州市地域福祉活動第六次計画の策定を行いました。

この活動計画を市民や関係機関・団体と推進していくことで、地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

北九州市地域福祉活動第五次計画 「基本目標」と「実施項目」

基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

【基本項目】

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

【基本項目】

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり
- 4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
- 5 小地域福祉活動計画の推進

基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

【基本項目】

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究、提言

組織体制の強化

常設委員会

事業実施概要

令和2年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

住民一人ひとりが、同じ地域に暮らす人たちの持つ多様な生活課題や福祉課題を、地域の課題として共感し、地域には色々な人がいてあたりまえという風景にしてい
くことで、お互いを思いやり支え合う活動が自然と広がっていくことが望めます。

そのため、私たちのまちに福祉の風土を広げ、福祉を身近なこととして感じても
らうための福祉教育の推進により、地域福祉への関心を高めていきます。

目標達成のための取り組み

1 広報・啓発の強化

(1) 地域福祉推進のための広報・啓発物の作成・活用

- テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 <全部署>
- 社協事業紹介リーフレットの活用 <全部署>
 - ・ボランティア・市民活動センター啓発冊子の作成・活用 <活動推進課>
 - ・社会福祉ボランティア大学校「研修事業のご案内」の作成(4,500部) <研修課>
- 社協だよりの活用 <全部署>
 - ・北九州市社協だよりでの「企業の社会貢献活動」の紹介(4回) <活動推進課>
 - ・短期講座の掲載 <周望・穴生>
- 広報紙の発行 <総務課・施設部・研修課・周望・区事務所>
 - ・「北九州市社協だより」・「ひと&ひと」各4回(172,000部)
 - ・「区社協だより」(各区2~4回)
 - ・「ウエル新聞」3回
 - ・「周望新聞」1回
- 他団体主催行事・イベント出席時の社協活動PR <全部署>
- 視察等の受入れによる地域福祉活動拠点施設(ウエルとばた)のPR <施設部>
- 校(地)区社協活動の先進事例集等活用 <地域支援課・区事務所>
- 啓発物品(オリジナルポロシャツ・エプロン等)の作製・活用(267枚) <地域支援課・区事務所>

(2) インターネットを活用した地域福祉関連情報の収集・発信

- ホームページでの社協・福祉情報の提供（アクセス数：268,308件） <全部署>
 - ・周望学舎ブログ「周望の丘から」、穴生学舎ブログ「つれづれ日記」による情報発信（周望：14回、穴生：11回） <周望・穴生>
- ホームページの内容分析と情報更新 <全部署>
- インターネット（メール）経由での講座等申込機能の活用 <全部署>
- ウェルとばたホームページ、Facebookを活用した情報発信 <施設部>
- 校（地）区社協ホームページの充実 <地域支援課・区事務所>
- ICTを活用したオンライン研修の開催（3回 3日 65人） <研修課>

(3) 啓発イベント等の実施

- ボランティア週間の実施（10月17～25日） <全部署>
- 社協活動イメージキャラクター「プチボザウルス」の活用（1回） <総務課>
- らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催（1回 会場54人 オンライン45人） <権利擁護課>
- ボランティアウィーク2020の開催（408人） <活動推進課>
- 作品展の開催による地域への情報発信（作品展：周望1回・穴生1回） <周望・穴生>
- 一日体験講座の開催（周望：1回、穴生：2回） <周望・穴生>
- 新入学児童へのランドセルカバー贈呈事業の実施 <区事務所>
- 年長者・障害者作品展の開催 <区事務所>
- ボランティア啓発パネル展の開催 <区事務所>

(4) 出前講演活動の実施

- 多様な地域生活課題に対応した出前講演の実施（51回 1,322人） <全部署>
- 社会福祉施設と連携した出前講演の実施（1施設）
- 健康づくり・介護予防のためのニュースポーツ出前事業（8回 171人） <穴生>

(5) 共同募金運動への協力

- 市民への共同募金運動の理解促進と募金活動への協力 <全部署>
- 地域歳末たすけあい運動への協力 <全部署>
- 共同募金啓発パネル展の開催（10月1～7日、ウェルとばた） <財務企画課>
- 共同募金自動販売機の増設に向けた取り組み <財務企画課>
- 社協の主催事業及び広報紙等を活用した広報啓発 <財務企画課・区事務所>

2 福祉教育の推進

(1) 住民啓発講座等による福祉教育

- 校（地）区社協での福祉講座等の開催支援（21件 503人） <地域支援課・区事務所>

○認知症サポーター養成講座を活用した福祉問題の市民への啓発

＜地域支援課・生活福祉課・区事務所＞

・認知症サポーター養成数（1,380人）

・校(地)区社会福祉協議会、学生及び企業向け講座の開催（校(地)区社協:2回
74人、学生向け:11回 405人、企業向け:5回 58人）

○福祉教育・人権学習の充実

＜周望・穴生＞

・認知症サポーター養成講座や人権研修の実施

○親子手話体験教室の実施（参加者数：21人）

＜活動推進課＞

（2）社会福祉施設と連携した福祉教育

○社会福祉施設と校(地)区社協が連携した福祉体験やウェルクラブ活動の実施（3施設
2校(地)区）

＜地域支援課・区事務所＞

○校(地)区社協及び社会福祉施設等での交流・活動体験による社会参加の促進

（45回 177人）

＜周望＞

（3）次世代地域福祉活動者の育成

○社協活動イメージキャラクター「プチボザウルス」の活用促進【再掲】

＜総務課＞

○次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動等）の実施（14校(地)区 参加
児童：689人）

＜地域支援課・区事務所＞

（4）学校等教育機関と連携した福祉教育

○小・中学校向け認知症サポーター養成講座の実施（3回 119名）

＜生活福祉課・区事務所＞

○小地域を基盤とした福祉体験・ボランティア学習への支援及び福祉教育の推進

＜活動推進課・区事務所＞

○学校教育機関（大学）との地域福祉人材育成のための共同カリキュラムの実施

（1校 2回 38人）

＜周望＞

3 地域福祉人材の育成

（1）新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

○地域生活支援活動推進事業による活動者の発掘及び活動機会の提供

＜地域支援課・区事務所＞

○住民向け講座の開催

＜地域支援課・活動推進課・研修課・区事務所＞

・まちづくりセミナーの開催（1回 5日 118人）

・ふくしのまちづくり講座の開催（16回 2～4日 860人）

○学校等教育機関との連携促進

＜区事務所＞

○ボランティアウィーク2020における講座等の実施（10回、408人）

＜活動推進課＞

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成

- 校(地)区社協及び地区民児協等と連携した研修事業の実施
＜地域支援課・研修課・区事務所＞
- 新任者の育成
＜地域支援課・研修課・区事務所＞
 - ・新任福祉協力員等研修の開催（10回 1日 193人）
- 現任者の育成
＜地域支援課・研修課・区事務所＞
 - ・現任福祉協力員研修の開催（7回 1日 176人）
 - ・地域福祉活動専門研修の開催（1回 1日 100人）
- 役員の育成
＜地域支援課・研修課・区事務所＞
 - ・地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」の開催（2回 1日 205人）
 - ・校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修の開催（1回 1日 70人）
 - ・まちづくりゼミナールの開催（1回 3日 82人）
- 小地域福祉活動者を育成するコースの開催（周望:3コース 57人、穴生:2コース 37人）
＜周望・穴生＞

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

- 入門者の育成
＜活動推進課・研修課・区事務所＞
 - ・生活支援活動の担い手養成講座の開催（2回 1日 26人）
 - ・私にもできる災害ボランティア入門講座の開催（1回 1日 34人）
 - ・福祉有償運送運転協力者研修の開催（2回 4日 64人）
 - ・傾聴ボランティア養成講座の開催（1回 2日 66人）
- 活動者のフォローアップ
＜活動推進課・研修課・区事務所＞
 - ・災害ボランティア・フォローアップ研修の開催（1回 1日 31人）
 - ・送迎ボランティア・フォローアップ研修の開催（1回 1日 16人）
 - ・傾聴ボランティア・フォローアップ研修の開催（1回 1日 31人）
- リーダーの育成
＜活動推進課・研修課・区事務所＞
 - ・ボランティアリーダー研修の開催（1回 1日 15人）
- 災害ボランティアの育成と活動支援（登録ボランティア：308人）
＜活動推進課＞
- 腕自慢おまかせサービスボランティアの育成と活動支援（登録ボランティア：266人）
＜活動推進課・区事務所＞
- シルバーひまわりサービスボランティアの育成と活動支援（登録ボランティア：889人）
＜活動推進課・区事務所＞

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の育成

- 企業への社協活動の周知
＜全部署＞
 - ・校(地)区社協活動への参加促進
＜地域支援課＞
- 北九州市社協だよりでの「企業の社会貢献活動」紹介（4回）
＜活動推進課＞
- 企業等における福祉教育・ボランティア体験への支援
＜活動推進課・区事務所＞
- 企業従事者等の育成
＜研修課＞

- ・企業の社会貢献活動セミナーの開催（1回 1日 22人）
- ・社会福祉法人の社会貢献活動セミナーの開催（1回 1日 27人）

（5）ボランティア・市民活動支援者の育成

<研修課・区事務所>

○実務者の育成

- ・ボランティアコーディネート研修の開催（2回 1日 38人）

基本目標 II 住民、関係機関・団体のネットワークで身近な福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域において住民と関係機関・団体とのネットワークの充実を図り、一人でも多くの住民が、自分たちの住むまちの地域づくりに参加することが必要です。

そのため、小地域福祉活動の推進やボランティア・市民活動の振興に努め、誰もが参加しやすい環境づくりを図るとともに、連携や協働を通じて支援を必要としている人の課題を解決していけるように、住民主体の福祉活動を推進していきます。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

(1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化 <地域支援課・区事務所>

重 ○ふれあいネットワーク活動推進事業「基本事業」の実施

・見守りのしくみ

近隣圏域の設定及び適切な福祉協力員の配置と人材確保（福祉協力員数：6,750人、1人当たり71世帯）

多様な関係団体・機関と連携した見守り活動の充実

・助け合いのしくみ

ニーズ対応員（チーム）による対象世帯のニーズ把握と助け合い活動の促進（ニーズ対応員：7,526人、生活支援活動：603,869回）

地域生活支援活動推進事業を活用した助け合い活動の充実（7校(地)区、910件）

・話し合いのしくみ

多様な関係団体・機関の参加による地域生活課題解決を目指した連絡調整会議の開催及び充実

重 ○ふれあいネットワーク活動推進事業「メニュー事業」の実施

・重点実施事業であるメニュー事業Ⅰの実施（高齢者のサロン事業、次世代地域福祉活動者育成事業、校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくり）（102校(地)区、111件）

・地域生活課題に対応したメニュー事業Ⅱの実施（131校(地)区、351件）

○協定に基づいた社会福祉施設との連携による小地域福祉活動の活性化（17校(地)区、21施設）

(2) 地域支援コーディネート機能の充実・強化 <地域支援課・区事務所>

○生活支援体制整備事業の実施（16人配置）

○多様な関係団体・機関の参加による地域生活課題解決を目指した連絡調整会議の開催及び充実【再掲】 <地域支援課・区事務所>

○ボランティア・市民活動団体と校(地)区社協との連携促進
＜地域支援課・活動推進課・区事務所＞

(3) 校(地)区社会福祉協議会会長会議等の開催 ＜地域支援課・区事務所＞

○校(地)区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の開催

(4) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働

○ボランティア週間の実施(10月17～25日)【再掲】 ＜全部署＞

○連絡調整会議への参画促進 ＜地域支援課・区事務所＞

○中間支援組織連絡会合同研修会の開催(1回 16人) ＜活動推進課＞

○ボランティアウィーク2020の開催(408人)【再掲】 ＜活動推進課＞

○区域ボランティアの啓発・交流・連携促進のための集いの開催 ＜区事務所＞

○ボランティア連絡協議会への支援 ＜区事務所＞

○テーマ型ボランティア等と校(地)区社協の連携強化 ＜区事務所＞

2 ボランティア・市民活動の支援

(1) ボランティア・市民活動への支援

○地域生活支援活動推進事業による活動者の発掘及び活動機会の提供【再掲】
＜地域支援課・区事務所＞

○コーディネーション、相談援助、情報提供機能の強化 ＜活動推進課・区事務所＞

○ボランティア活動保険加入取扱い(19,271人) ＜活動推進課・区事務所＞

○福祉用具の貸出(市域398件) ＜活動推進課・区事務所＞

○シルバーバンク及びボランティアグループの活動支援(周望:2,592人、穴生:3,604人)
＜周望・穴生＞

○地域開放事業の実施(図書室利用者:776人、大会議室等利用者:545人)
＜穴生＞

○ウェルとばたを活用したボランティア・市民活動の場の提供(随時) ＜施設部＞

(2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

○ボランティア週間の実施(10月17～25日)【再掲】 ＜全部署＞

○ボランティア・市民活動団体と校(地)区社協との連携促進【再掲】
＜地域支援課・活動推進課・区事務所＞

○中間支援組織連絡会合同研修会の開催(1回)【再掲】 ＜活動推進課＞

○ボランティアウィーク2020の開催(1回)【再掲】 ＜活動推進課＞

○NPO・市民活動団体等とのネットワークの充実 ＜周望・穴生＞

○区域ボランティアの啓発・交流・連携促進のための集いの開催【再掲】 ＜区事務所＞

○ボランティア連絡協議会への支援【再掲】 ＜区事務所＞

3 災害時の福祉救援体制づくり

(1) 災害時の福祉救援体制づくり

- 校(地)区社協と民児協等関係団体との連携による災害時の福祉救援体制づくりの推進 (32校(地)区) <地域支援課・区事務所>

重 (2) 災害復興に対応するための体制づくり

- 校(地)区社協による被災者の把握及び復興支援体制づくり <地域支援課・区事務所>
- 北九州市地域防災計画における災害ボランティア活動の環境整備 <活動推進課>
 - ・災害時相互協力協定締結団体、地域における公益的取組の推進に関する協定締結団体との連携強化
 - ・災害ボランティアセンター設置に向けた行政・関係団体との調整
 - ・災害ボランティアセンター設置・運営訓練 (1回 62人)
 - ・被災者支援にかかる活動や訓練等に対する相談支援
 - ・関係機関・団体、大学と連携した被災者支援活動の推進
 - ・災害時資機材の整備
 - ・災害及び被災地情報の逐次提供
- 災害時のボランティアコーディネート機能の充実 <活動推進課・区事務所>
- 行政等関係機関との連携強化 <総務課・活動推進課・区事務所>
- 災害ボランティアの活動支援のための研修等の開催
 - ・私にもできる災害ボランティア入門講座の開催 (1回 1日 34人) 【再掲】 <研修課>
 - ・災害ボランティア・フォローアップ研修の開催 (1回 1日 31人) 【再掲】 <研修課>

(3) 非常時の危機管理強化

- 戸畑駅前地区防災相互応援協定に基づく帰宅困難者への支援体制づくり <施設部>
- ウェルとばた入居団体との災害時支援体制づくりの推進 <施設部>

4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり

(1) 民生委員・児童委員との連携

<自立支援課・区事務所>

- 市・区民生委員児童委員協議会事務局の運営 (会議：24回、研修会：1回)
- 市・区民生委員児童委員協議会との連携促進
- 民生委員・児童委員と福祉協力員の連携強化によるふれあいネットワーク活動の充実 <地域支援課・自立支援課・区事務所>
- 民生委員互助共励事業の実施による民生委員・児童委員活動の支援 (弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業：2地区)
- 次世代地域福祉活動者育成事業における子ども民生委員の検討

(2) 専門職の参加による連絡調整会議の充実・強化

- 多様な関係団体・機関の参加による地域生活課題解決を目指した連絡調整会議の開催及び充実【再掲】 <地域支援課・区事務所>

(3) 社会福祉施設等の地域活動への参画とその専門性を活かした地域の課題解決

- 社会福祉施設協議会連絡会の開催（1回） <地域支援課>
- 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営 <地域支援課>
- 協定に基づいた社会福祉施設の地域における公益的な取組の推進 <地域支援課・区事務所>
- 行政の実施する社会福祉関係会議への参画 <区事務所>
 - ・包括ケア会議、地域ケア個別会議等

(4) 福祉の職場の人材確保

- 潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業の実施 <自立支援課>
- 「福祉のしごと就職フェア in FUKUOKA (WEB)」への協力 <地域支援課>
- 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の開催（1回 37人） <地域支援課>
- 社会福祉施設と校(地)区社協が連携した福祉体験やウェルクラブ活動の実施【再掲】 <地域支援課>
- 小地域福祉活動等を通じた福祉のしごとへの理解促進 <区事務所>

(5) 社会福祉施設・団体への支援

- 各種社会福祉助成事業の情報提供、寄贈物品等の提供先の拡充 <財務企画課>
- 民間社会福祉施設整備資金貸付事業の実施 <財務企画課>
- 民間社会福祉事業従事者共済事業・福利厚生事業の実施(212施設、4,818人) <地域支援課>
- 各種別社会福祉施設協議会と協力した啓発活動 <地域支援課>
- 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の開催【再掲】 <地域支援課>
- 潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業の実施【再掲】 <自立支援課>
- 社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業、市民後見人支援事業の広報、周知 <権利擁護課>
- 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護課>

5 小地域福祉活動計画の推進

(1) 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進

- 小地域福祉活動計画策定の推進 <地域支援課・区事務所>
 - ・計画的な策定校(地)区社協の選定（新規策定：2校(地)区、累計51校(地)区）
 - ・多様な関係団体・機関の計画策定委員会参画の推進

○策定校(地)区拡大に向けた地域福祉活動専門研修の開催(1回 1日 100人)

<研修課>

○小地域福祉活動計画の推進

<地域支援課・区事務所>

- ・取り組みに応じた出前講演やふくしのまちづくり講座の活用
- ・推進委員会の開催及び多様な関係団体・機関の参画への支援

基本目標 Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域とのつながりを持ち続け、いつまでも安心して健やかに暮らすことができるよう、高齢者、障害者、子どもたちが居場所や役割を認識でき、地域の一員として社会参加できる環境づくりが重要です。

そのため、住民の日常生活上のさまざまなニーズを早期に把握するための相談支援体制の充実を図り、支援を必要とする人に応じたサービス情報の提供、社会参加、自立支援につながる福祉活動を展開していきます。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と相談体制の充実

(1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実

<権利擁護課>

(地域福祉権利擁護事業：実契約者数 297人)

(法人後見事業：成年後見人等受任数 44人)

○判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利擁護に資することを目的とした、地域福祉権利擁護事業の実施

○成年後見センター「みと」と連携した総合相談の実施

○地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応

○関係団体(校(地)区社協等地域団体、行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)との連携によるサービスの実施(金銭管理サービス総回数:4,488回、生活支援サービス総回数:7,654回、財産保管サービス総回数:15回)

○専門機関との連携による法人後見事業の実施(家庭裁判所、北九州成年後見センター「みと」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)(法人後見事業活動総回数:1,356回)

○地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援(移行件数:9件)

○担い手となる支援員の確保、育成(2回)

新 ○らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催(1回 会場54人 オンライン45人)

【再掲】

新 ○地域福祉権利擁護事業の区域展開に向けた検討

(2) 成年後見制度の担い手の育成とその活用の検討・実施

<権利擁護課>

○市民後見人支援事業の実施(1件)

○社会貢献型市民後見人養成研修の実施(基礎研修2日 実務研修9日 修了者11名)

○成年後見制度利用促進計画への参画

新 ○らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催(1回 会場54人 オンライン45人)

【再掲】

(3) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介

○見守り活動による支援が必要な人への情報提供（生活情報の提供：258,028回）
＜地域支援課・区事務所＞

新 ○終活相談の実施（7件）
＜地域支援課＞

○地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申し立て支援（生活支援サービス総回数：7,654回）
＜権利擁護課＞

(4) 社会福祉施設等と連携したサービスの質の向上のための相談体制の充実

○介護サービス相談員派遣事業を活用した高齢者福祉施設サービスの質の向上（95事業所 延べ3回派遣）
＜生活福祉課＞

○社会福祉施設・団体への地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業、市民後見人支援事業の広報、周知【再掲】
＜権利擁護課＞

○地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加【再掲】
＜権利擁護課＞

2 社会参加・自立の支援

(1) 相談窓口や福祉サービスの利用支援

○見守り活動による支援が必要な人への情報提供【再掲】
＜地域支援課・区事務所＞

○民生委員・児童委員と連携した高齢者・障害者・ひとり親家庭への支援
＜地域支援課・自立支援課・区事務所＞

○いのちをつなぐネットワークコーナー等の関係機関・団体との連携による相談支援体制の充実
＜区事務所＞

(2) 生活困窮者の相談支援

○生活福祉資金貸付事業の実施
＜自立支援課・区事務所＞
・新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等特例貸付の申請受付（28,613件）

・生活福祉資金貸付制度（教育支援資金等）の説明会の実施（1回）

○生活困窮者自立支援制度における自立相談支援事業の実施
＜自立支援課・区事務所＞

○生活困窮者支援に関する住民理解の促進（出前講座：2回、参加者60人）
＜自立支援課・区事務所＞

○校(地)区社協と社会福祉施設との連携による生活困窮者支援のしくみの検討
＜自立支援課・区事務所＞

○無料・低額診療券の発行
＜区事務所＞

(3) サロン事業の推進

- 高齢者地域交流支援通所事業と連携したサロン活動への支援
＜地域支援課・生活福祉課・区事務所＞
- 社会福祉施設と連携したサロン活動の推進（3校(地)区、3施設）
＜地域支援課・区事務所＞
- サロン活動情報交換会・研修会等
＜区事務所＞
- 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業の実施（サロン等活動への助成金 251 団体、約 525 万円）
＜地域支援課・活動推進課＞

(4) 高齢者、障害のある人、ひとり親家庭等への支援

- 子どもの居場所づくり応援基金を活用した子ども食堂運営支援（19 ヶ所）
＜財務企画課＞
- 出前講演等を活用した住民の理解促進（21 回 476 人）
＜地域支援課・区事務所＞
- ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施
＜自立支援課＞
- 介護予防、自立支援に向けた効果的な高齢者地域交流支援通所事業の実施及び利用促進
＜生活福祉課・区事務所＞
 - ・地域団体・地域包括支援センターとの連携による新規利用者増（新規利用者数 67 人）
- 健康マイレージ事業を活用した地域での主体的な健康づくりの促進（応募者 3,365 人）
＜生活福祉課・区事務所＞
- 介護支援ボランティアの育成と活動支援（新規登録 42 人）
＜活動推進課・区事務所＞
- 年長者研修大学校の新人研修生の確保（周望：41 人、穴生：42 人）
＜周望・穴生＞
- 年長者・障害者作品展等の開催【再掲】
＜区事務所＞
- 当事者団体等への活動支援
＜区事務所＞
- 障害者（児）・ひとり親家庭交流事業の実施・支援
＜区事務所＞

(5) 年長者研修大学校による社会参加の支援

＜周望・穴生＞

- 高齢者の社会参加の支援
 - ・周望学舎（15 コース 277 人）
 - ・穴生学舎（15 コース 238 人）
- 小地域福祉活動者の育成（周望：3 コース 57 人、穴生：2 コース 37 人）【再掲】
- 福祉教育・人権学習の充実（30 コース）【再掲】
- 短期講座の開催
 - ・周望学舎（パソコン：3 回 43 人、生き生きビクス：1 回 9 人、一日体験講座：1 回 21 人）
 - ・穴生学舎（シニアカレッジ：1 回 38 人、パソコン：3 回 22 人、一日体験講座：2 回 36 人、公開講座：1 回 38 人）

- 年長者研修大学校・穴生ドームにおけるボランティア活動機会の提供(周望 282人、穴生 225人)
- 年長者研修大学校を拠点とするボランティアグループの育成と支援(周望: 21グループ、2,039人、穴生: 19グループ、3,379人)
- 地域活動情報支援センターによるボランティアコーディネート(89件)
- 穴生ドームでの健康・体力づくり事業
 - ・健康づくり・介護予防プログラムづくり
 - ・ニュースポーツ出前体験(8回 171人)
 - ・早朝開放やニュースポーツ無料開放(早朝開放: 2,934人、ニュースポーツ無料開放: 5回 117人)
- シニア世代の社会貢献を行う生涯現役夢追塾事業及び同窓会活動への実施支援

(6) 障害のある人の社会参加・自立の支援

- 障害者就労支援施設製品等の活用促進のための支援 <財務企画課>
- ウェルとばた・年長者研修大学校での障害者の就労支援 <施設部・周望・穴生>
- 障害者の製作品のイベントなどでの紹介及びウェル新聞等を活用した広報 <施設部>
- 出前講演等を活用した住民の理解促進【再掲】 <地域支援課・区事務所>
- 年長者・障害者作品展等の開催【再掲】 <区事務所>
- 障害者(児)交流事業の実施・支援 <区事務所>
- 北九州市障害福祉団体連絡協議会、障害者施設等との連携 <地域支援課・区事務所>

(7) 地域住民、ボランティアによる生活支援

- 地域の生活支援力の向上
- 重**
 - ・活動者養成のための講座開催 <地域支援課・活動推進課・研修課・区事務所>
ふくしのまちづくり講座、生活支援活動の担い手養成講座の開催
 - ・福祉協力員による対象世帯のニーズ把握 <地域支援課・区事務所>
 - ・ニーズ対応員(チーム)による助け合い活動の促進 <地域支援課・区事務所>
 - ・地域生活支援活動推進事業の実施 <地域支援課・区事務所>
- 高齢者見守りサポーター派遣事業利用者拡大のための事業周知(事業周知: 53回 1,293人) <生活福祉課>
- 在宅高齢者サービスにかかる行政、労働組合、企業との連絡調整 <活動推進課>
- シルバーひまわりサービスの実施・ボランティアの養成(1,958回) <活動推進課・区事務所>
- 腕自慢おまかせサービスの実施、ボランティアの養成(9件) <活動推進課・区事務所>
- 新** ○シルバーひまわりサービスあり方検討会の実施(3回、29人) <活動推進課>

3 調査・研究、提言

(1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催

<地域支援課>

- 総合企画委員会の開催（2回）及び行政や関係機関・団体、企業等との連携による地域福祉活動第五次計画の推進、点検・評価

- 行政計画との連携

- 地域福祉計画と一体化した地域福祉活動第六次計画の策定

(2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言

<地域支援課・区事務所>

- ふれあいネットワーク活動推進事業第三者評価委員会の開催（1回）

- 学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動の効果的な推進

- ふれあいネットワーク活動中間報告、実績報告等を活用した校(地)区社協の活動状況の把握・分析による課題整理

- 行政、他市町村社協等の関係機関との連携による先進的小地域福祉活動事例の情報収集

- 地域支援コーディネート機能の強化による校(地)区社協の実態把握

- 地域の関係団体との連携状況調査（民生委員・児童委員対象）の活用

(3) ボランティア・市民活動実態調査

- 「ボランティアというカ・タ・チ」の発行（1,500部）

<活動推進課>

- 高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査、研究（1回）

<周望・穴生>

- 年長者研修大学校修了後の地域活動の追跡調査（1回）

<周望・穴生>

組織体制の強化

地域福祉活動第五次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するために、社会福祉法人制度改革に的確に対応するとともに、自主財源の確保、職員の人材育成等を行い、組織体制の一層の強化に努めました。

- | | |
|--------------------|--------------|
| ○発展強化方策の検討 | <全部署> |
| ○賛助会員の加入促進 | <全部署> |
| ○無期雇用嘱託職員の採用（12人） | <総務課> |
| ○研修等を通じた職員の人材育成 | <総務課> |
| ○自主財源確保のための収益事業の実施 | <財務企画課・区事務所> |

常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行いました。

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| ○表彰審査委員会（1回） | <総務課> |
| ○民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（開催なし） | <財務企画課> |
| ○生活福祉資金調査委員会（開催なし） | <自立支援課> |
| ○民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（1回） | <地域支援課> |
| ○総合企画委員会（3回） | <地域支援課> |
| ○権利擁護・市民後見センター運用委員会（8回） | <権利擁護課> |
| ○ボランティア・市民活動センター運営委員会（2回） | <活動推進課・研修課> |
| ○北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（開催なし） | <周望・穴生> |
| ○各区社会福祉協議会運営委員会 | <区事務所> |

事業実施内容

◇会務運営

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議・研修等の中止や延期、対人接触の機会を軽減する工夫を行うとともに、勤務体制の見直しを行い、オンライン会議を実施するなどして、様々な対応を図り、社会福祉法をはじめとする関係法令に基づき、適正な会務運営に取り組みました。

また、ICT技術の活用が全国的に進められる中において、職員に対する勤怠管理等の電子化やオンライン会議システムなど整備し、事務改善に努めました。

1 理事会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第266回	R2.4.1	17/17	1 常務理事の選任について
第267回	R2.6.15	16/17	1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度収支決算について 3 評議員選任候補者の推薦について 4 令和2年度補正予算について 5 子どもの居場所づくり応援基金設置・運営規程の制定について 6 事務局処務規程の一部改正について 7 職員就業規則の一部改正について 8 嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 9 ホームヘルパー等就業規則の一部改正について 10 経理規程の一部改正について 11 第210回評議員会（令和2年定時評議員会）の日時及び場所並びに議案の決定について
第268回	R3.1.14	16/17	1 令和2年度補正予算について 2 評議員選任・解任委員会委員の選任について 3 評議員選任候補者の推薦について 4 第211回評議員会の日時及び場所並びに議案の決定について
第269回	R3.3.4	14/17	1 北九州市地域福祉活動第六次計画について 2 令和3年度事業計画について 3 令和3年度収支予算について 4 補償契約及び役員等のために締結される保険契約内容について 5 職員就業規則の一部改正について 6 嘱託職員及び臨時職員就業規則等の一部改正について 7 ホームヘルパー等就業規則の一部改正について 8 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 9 評議員選任候補者の推薦について 10 第212回評議員会の日時及び場所並びに議案の決定について

2 評議員会開催

回	実施日	出席者数 /定数	議題
第 210 回	R2. 6. 30	31/31	1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度収支決算について 3 理事の選任について
第 211 回	R3. 1. 28	30/31	1 令和 2 年度補正予算について 2 理事の補充選任について
第 212 回	R3. 3. 29	25/31	1 令和 3 年度事業計画について 2 令和 3 年度収支予算について 3 理事の補充選任について 4 監事の補充選任について

※269 回理事会及び 212 回評議員会は、参集とオンライン会議の併用で開催

3 監事監査

実施日	実施監事名	監査の内容
R2. 6. 4	宮津 誠 長尾 由起子 吉村 知泰	令和元年度理事の職務執行状況 (事業報告及び計算関係書類等の検討)

◇賛助会員の加入促進

本会活動への賛同者の増加及び地域福祉事業推進のための財政基盤強化を目的として、市内企業等を中心に賛助会員の加入促進に取り組みました。

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H28	228	4,330,000	194	631,000	422	4,961,000
H29	246	4,790,000	152	486,000	398	5,276,000
H30	242	4,350,000	190	499,000	432	4,849,000
R1	229	4,000,000	175	419,000	404	4,419,000
R2	213	3,630,000	125	430,000	338	4,060,000

◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を予定していましたが、新規申込みはありませんでした。

【貸付状況の推移】

年度	件数	貸付金額
H28	2	14,700,000
H29	0	0
H30	0	0
R1	0	0
R2	0	0

【令和2年度末貸付件数及び貸付残高】

13 施設 41,846,000 円

◇民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設を対象に、施設職員の賞与等の支給原資として資金の貸付を予定していましたが、新規申込みはありませんでした。

なお、平成7年度以降、新規の貸付申請はありません。

◇広報紙の発行事業

社協活動を多くの市民に知らせるとともに、福祉に関する正しい理解を広げるため、市社協だよりを年4回発行しました。

発行にあたっては、魅力的な広報紙にするため特集記事や紙面構成などを工夫し、社協活動についての理解促進と、読者の興味を引くような紙面づくりに努めました。

広報紙名	発行回数	1回あたりの発行部数	年間発行部数
北九州市社協だより	4	43,000	172,000

◇寄贈品の提供事業

例年、市内の障害者、高齢者及び児童養護施設の利用者等を対象に、各企業様からご提供いただいたプロ野球観戦等の招待チケットなどの提供を行っていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で各種イベントの中止や、受入れ側の施設の辞退により、事業未実施となりました。

項目	提供者及び企業名	施設数	招待者数
プロ野球公式戦招待	(株)ソフトバンクホークス	—	中止
プロレスラー施設慰問	NPO法人 九州プロレス	—	中止

◇助成金の情報提供等事業

民間公益団体が実施する、障害者、高齢者、児童福祉及び地域福祉等を対象とする各種助成金について、情報提供及び申請に係る推薦等の支援を行いました。

令和2年度は、27件の助成事業の情報提供を行ないました。

◇障害者就労支援施設への支援事業

障害者就労支援施設商品等の活用促進のため、共同受注センターと協働のもとで作成した販売カタログを、市民センター、賛助会員、企業、市社協へ寄付いただいた方(団体)、校(地)区社協等の関係機関、団体へ配布しました。

◇子どもの居場所づくり応援基金事業

令和2年7月、子ども食堂を支援するための基金を設置し、広く市民・企業等から寄付を募り、関係機関と連携して市内の子ども食堂の開設・運営支援のための助成事業を実施しました。

なお、助成金については、子ども食堂ネットワーク北九州を通じて、市内の子ども食堂へお渡ししています。

【寄付の状況】

年度	寄付金（総額）	寄付件数
R2	5,205,389	55

【助成の状況】

年度	助成目的	助成件数	助成金額
R2	子ども食堂運営支援	子ども食堂等19ヵ所	1,900,000

◇収益事業

ふれあいネットワーク活動推進事業をはじめとした社協活動の安定的な財源確保のため、収益確保の取り組みに努めました。

1 駐車場管理

北九州市交通局から遊休地を借用し、駐車場管理事業を実施しました。

平成29年度から北九州市の遊休地17箇所の借用ができなくなり、収益額も大幅に減少しています。

年度	売上額	箇所数	延べ契約台数
H28	27,008,672	19	4,017
H29	1,873,740	2	304
H30	2,210,640	2	370
R1	2,244,000	2	374
R2	2,094,080	2	350

2 自動販売機

年度	手数料収入	設置台数
H28	1,594,149	15
H29	1,583,835	15
H30	1,634,223	15
R1	4,438,946	24
R2	2,508,610	24

3 北九州市社協だよりへの広告掲載

年4回発行する広報紙北九州市社協だよりの紙面を活用して、福祉・保健分野などの事業所や企業・団体の広告を掲載し、収益確保に努めました。

年度	広告料収入	掲載件数
H28	518,400	15
H29	518,400	15
H30	518,400	15
R1	326,400	10
R2	429,000	10

4 「まちづくりクッキー」の販売

障害者施設との連携強化及び社協活動の周知を目的に、関係機関、団体の協力を得て「まちづくりクッキー」を販売しました。

年度	手数料収入	売上数量
H28	32,000	320
H29	37,700	377
H30	26,000	260
R1	26,200	262
R2	3,100	31

◇令和 2 年豪雨災害に関する支援活動

1 職員の派遣

九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、熊本県災害ボランティアセンター、八代市災害ボランティアセンターの運営支援のため職員の派遣を行いました。

- (1) 熊本県災害ボランティアセンター（派遣者 2 名）
派遣期間 令和 2 年 7 月 30 日～8 月 3 日、8 月 23 日～27 日
- (2) 八代市災害ボランティアセンター（派遣者 1 名）
派遣期間 令和 2 年 8 月 11 日～15 日

2 義援金の募集・受付

平成 28 年度～令和 2 年度の災害で被害を受けられた方々に対する義援金の募集・受付を行いました。

災害名称	募集期間	受付場所（募金箱）	義援金額
①平成 28 年熊本地震災害	H28. 4. 15～R3. 3. 31	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	10, 941
②平成 30 年 7 月豪雨災害	H30. 7. 10～R3. 6. 30	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	8, 668
③令和元年 8 月 佐賀県豪雨災害	R1. 9. 2～R2. 8. 31	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	10, 501
④令和元年台風 19 号災害	R1. 10. 16～R3. 3. 31	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	4, 864
⑤令和 2 年 熊本県南豪雨災害	R2. 7. 8～R2. 12. 31	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	22, 010
⑥令和 2 年 7 月 福岡県豪雨災害	R2. 7. 10～R3. 3. 31	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	133, 667
⑦令和 2 年 7 月豪雨災害	R2. 7. 13～R3. 3. 31	ウェルとばた 周望学舎・穴生学舎	4, 385

（令和 3 年 3 月末現在）
（金額は令和 2 年度募金分）

◇ウェルとばた運営事業

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令により、ウェルとばたについては北九州市の「施設・イベントに関する基本方針」に基づき、利用制限期間（4月7日から6月18日まで）が設けられることとなりました。

解除となってからも、イベントの中止が相次ぎ、利用者が激減する厳しい1年となりましたが、北九州市所管課の指示を仰ぎながら、利用取りやめ者・団体への対応、これに伴う事務処理等の円滑な遂行とともに、館の安全な環境づくりに努めました。

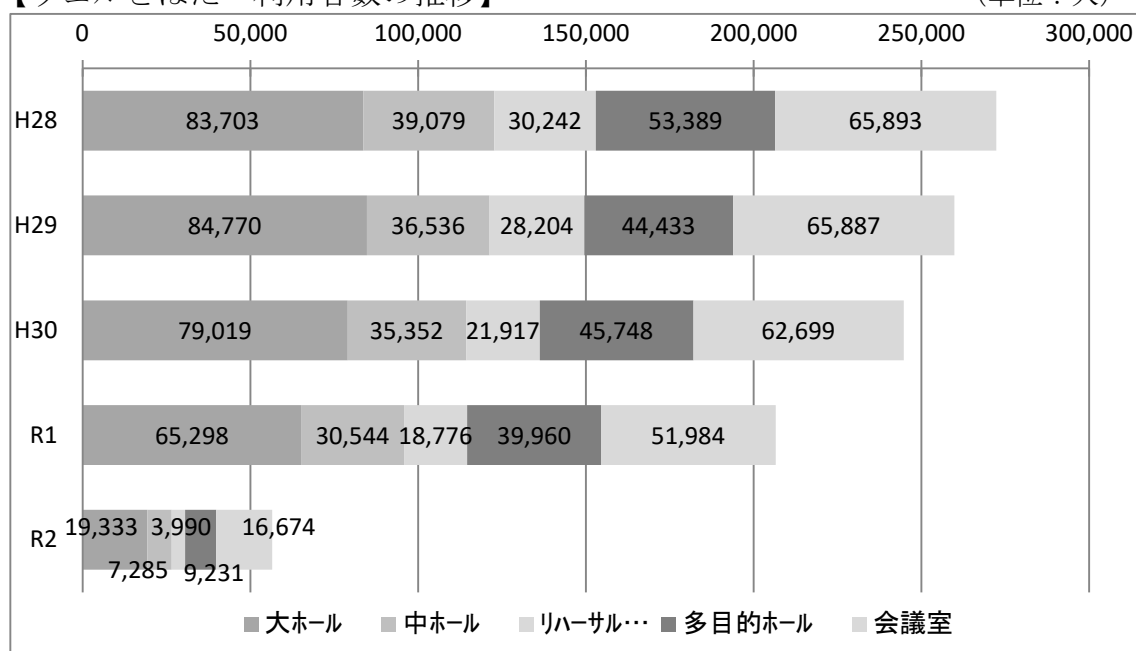
1 会議室等利用状況

(単位：人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハール・練習室	多目的ホール	会議室	
H28	83,703	39,079	30,242	53,389	65,893	272,306
H29	84,770	36,536	28,204	44,433	65,887	259,830
H30	79,019	35,352	21,917	45,748	62,699	244,735
R1	65,298	30,544	18,776	39,960	51,984	206,562
R2	19,333	7,285	3,990	9,231	16,674	56,513

【ウェルとばた 利用者数の推移】

(単位：人)



福祉会館の利用者数について、会議室は昨年比マイナス67.9%、多目的ホールは昨年比マイナス76.9%となりました。稼働率は福祉会館全体で30.8%と、昨年の76.1%からマイナス45.3%となっています。また、市民会館大・中ホール及びリハール・練習室の利用者数は昨年比マイナス73.3%、稼働率は28.8%と昨年の81%からマイナス52.2%となっています。

福祉会館、市民会館ともに、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年間の集計では、マイナス傾向となっています。

2 にぎわい創出事業

行事名	実施日	人員	内容
ステージで スタインウェイを 弾いてみませんか	R3. 2. 23	15	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館中ホールで開催。年2回の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため年1回の開催となった。
ステージで ベーゼンドルファー を弾いてみませんか	R2. 12. 27	18	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館大ホールで開催。年2回の開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため年1回の開催となった。
レクイエムin北九州	R2. 12. 13	220	自然災害や不慮の事故で命を落とされた方やこの一年で亡くなられたすべての方々の魂に祈りを捧げるための演奏会。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年行っている合唱形式を取りやめ、管弦楽の演奏のみとした。
七夕飾り	R2. 6. 15 ～7. 10	-	交流プラザのにぎわいづくりとして企画したもので、例年はボランティアの協力で七夕飾りを設け、願いごとを書いた短冊の飾りつけを来館者に開放して行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員による七夕飾りの設置のみとした。
イルミネーション ツリー関連行事	R2. 11. 25 ～12. 27	-	交流プラザに高さ3mを超える巨大なイルミネーションツリーを展示し、多くの来館者に楽しんでいただいた。12/19には、北九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏の皆さんを迎え、ミニコンサートを開催した。
雛飾り	R3. 2. 6 ～3. 24	-	交流プラザに雛飾りを展示し、季節感を感じていただいた。
初夏のをどり			新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
くきのうみ花火の祭典観賞会			
ウェルとばた秋まつり ウェルまるしえ			
歌まつり			
映画上映会			
ウェルカムコンサート			

3 水道光熱費削減の取り組み

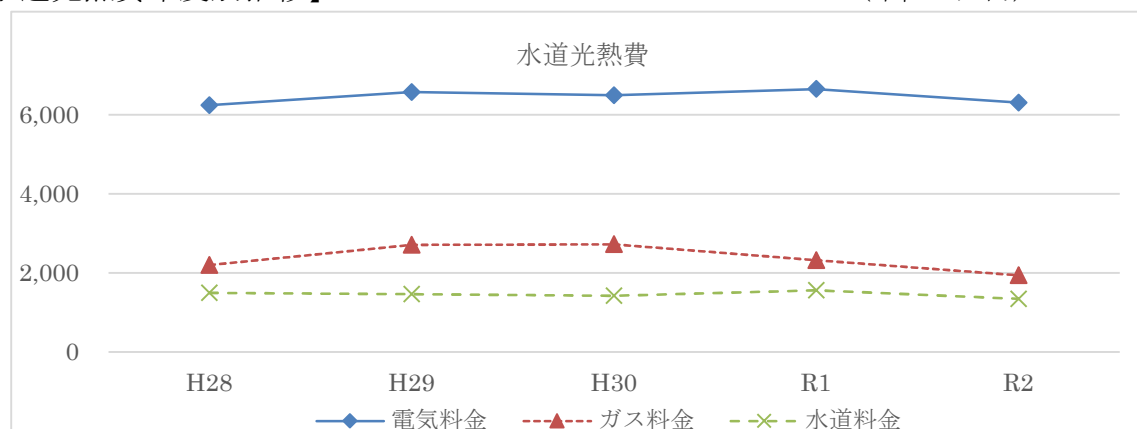
燃料需給契約は、常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めています。

ライフライン各社とは使用量などをもとに臨機応変に契約変更を行う等、徹底した運用管理を行い、昨年比で約 8.9%の減額となりました。

令和 3 年度も継続して省エネに取り組むとともに、入居団体等に「ウエルとばたエコ・オフィスプラン」への協力を呼びかける等、環境保護の啓発に努めます。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	H28	H29	H30	R1	R2
電気料金	62,462,522	65,774,466	64,966,832	66,528,860	63,051,261
ガス料金	21,973,429	27,097,756	27,240,579	23,218,531	19,409,300
水道料金	14,936,325	14,614,890	14,211,043	15,613,689	13,454,847

4 広報・情報発信状況

北九州市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウエルとばた Facebook でも積極的な情報発信を行いました。事業ごとには、マスコミの協力により、一定の成果がありました。

また平成 28 年度リニューアルしたホームページは、ユーザー数・アクセス数が大幅に増加し、利用者より好評を得ています。(ユーザー数：57,899 人、アクセス数：76,022 件、ページ閲覧数：216,025 ページ)

5 安全・安心な施設管理の取り組み

市民や入居団体が、安全・安心に館を利用できるよう、設備や消防など各種点検を実施しています。加えて、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に重点をおいた施設管理を行いました。

- ・ 建築設備点検 1 回 (11 月) 実施
- ・ 消防設備点検 2 回 (8 月、2 月) 実施
- ・ 防火対象物点検 1 回 (8 月、2 月) 実施
- ・ 消防署 (分署) 点検 2 回 (12 月、2 月) 実施
- ・ 自衛消防訓練 (火災) 2 回 (11 月…地区隊、2 月…全体での図上訓練) 実施
- ・ 自衛消防訓練 (地震) 1 回 (10 月…地区隊) 実施

- ・ 甲種防火管理再講習 1名（10月）受講
- ・ 防災管理新規講習 1名（11月）受講
- ・ AED設置台数 5台（1階、2階、3階、8階、12階）
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
 - ・ 消毒液配置箇所…福社会館共用部 11箇所、市民会館 10箇所
 - ・ 市民会館ホール内行事内容によっては座席半数対応、福社会館会議室は定員の半数
- 感染者発生時の対応
 - ・ 館内で令和3年1月3件発生。

発生報告を受けた直後から、当該団体及び所管課と連携し対応にあたり、館内エレベーター内、エスカレーター手摺りの消毒を実施、保健所から濃厚接触者なしの連絡を受けてからは、当該フロアのトイレ、給湯室、フロア全室内及び共用部の消毒作業を実施しています。なお、濃厚接触者が複数人いるような場合には、速やかに業者連絡の上で消毒作業が即日対応できるような体制を整えています。

6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウェルとばたにお越しになる方に心和んでいただけるよう、以下の取り組みを実施しました。

- ・ 2階交流プラザ総合案内前にアートフラワー作家による「布の花」を展示（年4回入れ替え）
- ・ 2階交流プラザで電子ピアノによる心和むBGMを放送
- ・ 2階正面玄関前の国旗掲揚ポールに鯉のぼりを掲揚（4月中旬～5月上旬まで）

◇住民による地域づくり事業

1 地域福祉活動計画推進事業

「北九州市地域福祉活動第五次計画」（平成28年度～令和2年度）の5年次にあたる令和2年度は、第五次計画が円滑に推進されるよう総合企画委員会、第三者評価委員会等において進捗状況の点検・評価を行いながら、第六次計画策定に向けて協議を重ねてきました。

社会福祉協議会が推進役となり地域福祉活動に取り組むことで、活動計画の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、市民に対する広報・啓発活動の強化や、子どもから大人までの福祉教育の推進、活動の担い手となる人材の育成・確保、地域生活課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークづくりを推進しました。

（1）北九州市地域福祉活動第五次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	目標達成のための基本項目
みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標Ⅰ みんなが福祉の風土を広げよう	1 広報・啓発の強化
		2 福祉教育の推進
		3 地域福祉人材の育成
	基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで、身近な福祉活動を進めよう	1 小地域福祉活動の活性化
		2 ボランティア・市民活動の支援
		3 災害時の福祉救援体制づくり
		4 社会福祉関係機関・団体と連携した地域づくり
	基本目標Ⅲ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	5 小地域福祉活動計画の推進
		1 権利の擁護と相談体制の充実
2 社会参加・自立の支援		
		3 調査・研究、提言

2 住民福祉活動促進事業

今年度も、平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化に努めました。

基本事業としては、連絡調整会議の活性化を図るとともに、福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、地域生活課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

メニュー事業としては、地域住民の居場所づくりとして「サロン事業」、次世代へ地域福祉活動をつないでいくために「次世代地域福祉活動者育成事業」、地域生活課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画づくり」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

新型コロナウイルス感染拡大のため、活動を制限した期間もありましたが、感染拡大の予防と活動の両立を図り、創意工夫をした校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業（基本事業・メニュー事業）の推進

※新型コロナウイルス感染拡大のため、実施校(地)区数の減少や活動の統計が取れなかった校(地)区もありました。

ア 各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	789	12,902	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	868	37,055	話し相手 260,825
小倉北	25	1,192	34,856	128,280	1,501	165,724	買い物支援 12,573
小倉南	27	1,247	18,922	障害のある人の世帯 3,563	457	94,470	生活情報の提供 258,028
若松	14	529	9,854	ひとり親で子育て中の世帯 2,312	470	24,612	薬とり 1,257
八幡東	21	468	15,415	その他の世帯 2,107	1,693	126,980	庭掃除 1,127
八幡西	33	1,904	32,957		1,852	116,578	布団干し・入れ 260
戸畑	14	621	11,356		685	38,450	洗濯 1,760
							ゴミ出し 31,763
							その他 36,276
全市	155	6,750	136,262		7,526	603,869	

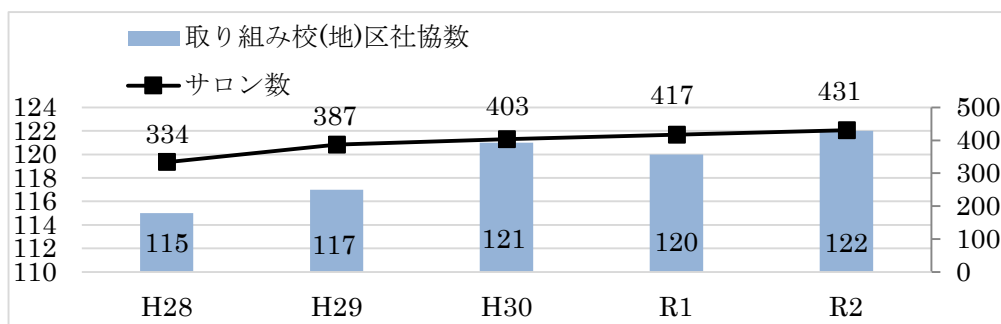
イ メニュー事業Ⅰ実施状況
メニューⅠ－①「サロン事業」

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
西門司	藍島	北方	浜町	高見	木屋瀬	東戸畑	
大里南	足原	葛原	深町	槻田第三	陣原	鞆ヶ谷	
大里柳	足立	吉田	修多羅	高槻	陣山	大谷第一	
大里東	泉台	山本	古前	枝光第一	熊西	浅生	
小森江西	今町	若園	藤ノ木	枝光第二	上津役	天籟寺	
小森江東	小倉中央校区米町	企救丘	二島	前田北	本城	三六	
錦町	小倉中央校区塚町	湯川	江川	前田第三	浅川	中原	
庄司	寿山	城野	高須	前田第四	鳴水	西戸畑	
古城	城野第一	沼	青葉台		引野		
門司	富野	守恒	ひびきの		中尾		
清見	中井	志井			塔野		
田野浦	西小倉	長尾			永犬丸		
白野江	日明	東朽網			筒井		
大積	南丘	広徳			青山		
柄杓田					医生丘		
伊川					光貞		
松ヶ江北					楠橋		
松ヶ江南					千代		
					池田		
					黒畑		
					永犬丸西		
					八枝		
					黒崎		
					星ヶ丘		
18	14	14	10	8	24	8	96

※令和2年度は「住民主体による生きがい・健康づくりの場（サロン）助成事業」へ移行した校(地)区の増加及び、新型コロナウイルス感染拡大での申請取り下げにより、実施校(地)区が減少

サロン活動取り組み校(地)区社協数の推移



※令和2年度からはメニュー事業Ⅰ－①助成金申請校(地)区以外のサロンも含む

メニューⅠ－②「次世代地域福祉活動者育成事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
田野浦 松ヶ江北	泉台 中井校区北小倉	合馬 山本	小石赤崎 古前	高槻 中央第一	折尾西 永犬丸西 赤坂		
2	2	2	2	2	3	0	13

※基本事業等としてウェルクラブ活動を実施した校(地)区社協

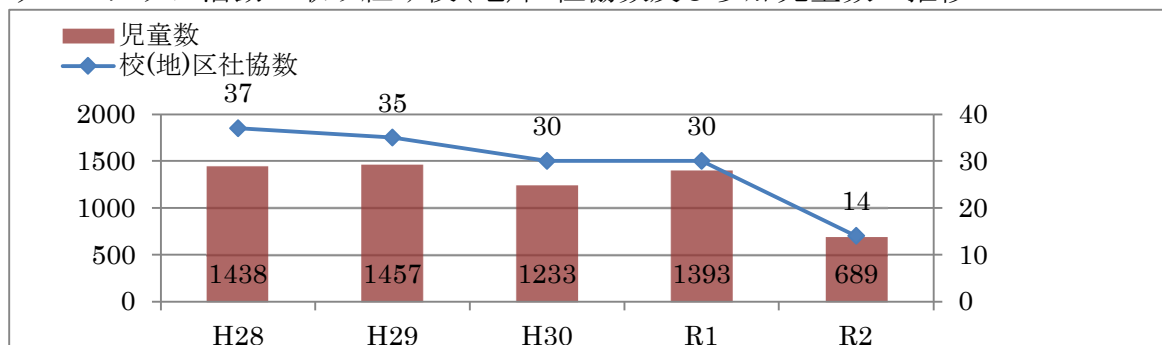
門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
—	—	道原	—	—	—	—	
—	—	1	—	—	—	—	1

次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施状況

	校(地)区社協	小学校	参加児童数	活動内容										特徴等	
				見守り活動	助け合い活動	疑似体験	共同募金活動	施設訪問・交流	認知症SP養成講	サロン訪問	地域交流・行事	その他	活動報告会		
1	田野浦	田野浦	79										○		小学生児童が敬老対象者に向けてメッセージカードを作成、配付 全校児童が一人暮らし高齢者に向けて年賀状を作成、配付
2	松ヶ江北	松ヶ江北	53											○	ウェルクラブ活動のDVD鑑賞、児童クラブへ訪問講座
3	泉台	泉台	2	○						○				○	高齢者宅へお菓子の配布を兼ねた見守り訪問、一人暮らし高齢者宛の年賀状作成
4	中井校区北小倉	中井	14											○	視覚障害者・盲導犬について勉強、点字体験（作成した葉をセンターまつりで展示）
5	合馬	合馬	40											○	高齢者への年賀状づくり
6	山本	すがお	74											○	コロナ禍で生活されている地域の高齢者に「マスク」にメッセージを添えて配付
7	道原														
8	古前	古前	98											○	地域の高齢者(約 170 名)を対象に絵手紙を作成。福祉協力が対象者宅へ訪問し、代読・配布した。
9	小石・赤崎	小石・赤崎	111											○	地域の独居高齢者(250名)を対象に絵手紙を作成。発会式代わりに出発式を行い、郵送した。
10	高槻	高槻	28											○	ほたる祭り、どんと焼き、そうめん流し、ラジオ体操、カヌー教室、川の教室、町内清掃活動
11	中央第一	八幡	6			○						○	○		まち美化清掃活動
12	折尾西	折尾西	6											○	非接触型の活動として、一人暮らし高齢者へ年賀状を作成
13	永犬丸西	永犬丸西	158											○	非接触型の活動として、一人暮らし高齢者へ暑中お見舞いのハガキを作成 八幡西区役所窓口の亚克力版の装飾として絵を作成
14	赤坂	赤坂	20											○	非接触型の活動として、高齢者・障害者施設へ壁掛けを作成
全市計				14校(地)区 689人											

メニューⅠー②「次世代地域福祉活動者育成事業」

ウェルクラブ活動 取り組み校(地)区社協数及び参加児童数の推移



メニューⅠ-③「校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくり」

新型コロナウイルス感染拡大のため、計画策定が遅れており、第一次計画及び第二次計画策定校(地)区は年度を跨り策定予定です。

小地域福祉活動計画策定校(地)区と重点実施項目

※第一次計画（令和3～7年度）

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
門司	大積	「大積かっぱサミット 元気プラン」(仮) ①災害弱者の把握と支援 ②買い物支援活動 他
	柄杓田	「柄杓田ガガナキ会 元気プラン」(仮) ①住民のつながり強化 ②生活支援活動ボランティアグループの立ち上げ 他
計		2校(地)区

※第二次計画（令和3～7年度）

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
小倉南	田原	認知症対応 たはら元気プラン — 老いても 安心して住めるまち たはら — ① 地域の福祉活動を広める ② 活動基盤の体制づくり

ウ メニュー事業Ⅱ実施状況

(単位：校(地)区)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
① 地域交流活動 世代間交流、健康づくり等	7	18	16	7	13	27	4	92
② 生活支援活動 買い物支援、子育て支援等	1	5	9	1	6	9	0	31
③ 研修・学習活動 住民啓発講座、視察研修等	0	1	10	7	12	15	2	47
④ 広報・調査活動 広報紙発行、障害理解等	2	5	18	5	13	24	0	67
⑤ 福祉救援体制づくり 要援護者マップ、避難訓練等	9	3	3	2	9	4	2	32
⑥ 年末年始ふれあい活動 見守強化、年末年始行事等	2	16	19	5	12	26	0	80
⑦ その他の活動	0	0	1	1	0	0	0	2
計	21	48	76	28	65	105	8	351

(2) 出前講演活動の実施

項目	主な内容	回数 (回)	受講者数 (人)
1	住民の支えあい「ふれあいネットワーク活動」	22	566
2	誰もが自分らしく生きられる地域づくり～生活困窮者の支援～	2	60
3	災害にも強い福祉のまちづくり	0	0
4	あなたにもできるボランティア	3	171
5	あんしんな暮らしのお手伝い	6	112
6	“ともに生きる” 障害のある人にもやさしいまちづくり	13	290
7	ご存知ですか？ “ひきこもり” のこと	2	74
8	その他	3	49
計		51	1,322

(3) 社協PR用オリジナルTシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布 (単位：枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
64	74	57	72	267

(4) 他都市からの照会・視察受入れ
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動計画の効果的な推進

実施日	内 容
R2. 4. 1 ～ R3. 3. 31	<p>【学識経験者】 福岡県立大学 教授 村山 浩一郎 氏</p> <p>【業務内容】 小地域福祉計画策定及び推進にかかる校(地)区社協支援体制の強化</p> <p>①協議及び会議等での発言 (全10回)</p> <p>②地域福祉活動第五次計画の進捗状況に関する分析等</p> <p>③地域の特性や実情を踏まえた小地域福祉活動の分析等</p>

(6) その他会議への参画

- ・北九州市障害者差別解消支援地域協議会
- ・地域包括支援に関する会議
- ・北九州市居住支援協議会
- ・障害福祉団体連絡協議会定期総会
- ・北九州市保健所運営協議会
- ・北九州市民生委員推薦会
- ・北九州市障害者自立支援協議会 地域ネットワーク部会
- ・地域福祉計画策定懇話会

【門司区】

- ・門司区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会
- ・門司区支援調整会議
- ・門司区包括ケア会議
- ・門司区医師会と包括との情報交換会

・門司犯罪被害者支援協議会

【小倉北区】

- ・小倉北区役所のちネット連絡調整会議
- ・小倉北区支援調整会議
- ・小倉北区包括ケア会議
- ・小倉北区すこやかライフ推進協議会高齢者部会あい愛ネット小倉北世話人会
- ・まちづくりステップアップ事業選定検討会

【小倉南区】

- ・小倉南区・保健・福祉・地域連携システム推進協議会（ほっとステーション小倉南）
- ・小倉南区包括ケア会議
- ・小倉南区支援調整会議

【若松区】

- ・若松区保健・医療・教育・地域連携協議会（総会）
- ・若松区犯罪被害者支援連絡協議会
- ・若松区支援調整会議
- ・若松区包括ケア会議
- ・若松区交通安全推進協議会

【八幡東区】

- ・八幡東区いきいき 21 推進協議会
- ・八幡東区支援調整会議
- ・八幡東犯罪被害者支援協議会
- ・八幡民生事業協会評議員会

【八幡西区】

- ・八幡西区生活困窮者自立支援事業支援調整会議
- ・八幡民生事業協会評議員会
- ・八幡西区包括ケア会議
- ・八幡西区交通安全推進協議会
- ・八幡西区女性団体連絡会議

【戸畑区】

- ・戸畑区包括ケア会議
- ・戸畑区地域福祉推進協議会あんしん部会委員
- ・戸畑区支援調整会議

◇生活支援体制整備事業

平成27年度から、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援しました。

多様化する地域生活課題に対応するためには、地域の見守り・話し合い・助け合いを強化する必要があるため、地域の関係機関・団体、社会福祉施設等との連携を図り、地域の話し合いの場を活性化するとともに、地域の互助活動の強化を行いました。また、地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

1 地域資源の発掘・組織化業務

(1) 地域生活課題の把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域プロフィールシート(地区カルテ)を作成・更新しました。

①地域の会議等への参加実績 1,549回、26,113人(全市)

②地域プロフィールシート作成状況 全155校(地)区整備

(2) 地域資源の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源(サービス)情報シートを作成しました。

①地域資源(サービス)情報シート作成状況(H27~R2年度累計)

項目		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
生活支援	買い物支援	23	5	11	25	7	19(3)	9	99(3)
	配食サービス	5	-	4	1	1	4	8	23
	調理	4	1	4	1	1	2	5	18
	掃除・洗濯	8	1	4	1	1	2	3	20
	外出介助	8	1	4	1	4	3	6	27
	貸室	2	1	3	-	3	2	3	14
	その他	103	2	18	16	10	8	41	198
	小計	153	11	48	45	27	40(3)	75	399(3)
互助活動	ゴミ出し	-	-	1	-	-	1(1)	1	3(1)
	話し相手	-	-	-	-	-	-	-	0
	見守り・安否確認活動	-	-	-	-	-	-	-	0
	サロンなどの交流会	9	22	33	25	12	7(1)	28	136(1)
	その他	2	-	-	1	2	10	5	20
	小計	11	22	34	26	14	18(2)	34	159(2)
合計		164	33	82	71	41	58(5)	109	558(5)

※ () 内は令和2年度実績

(3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすための、チラシや広報紙の作成などの広報活動の支援や、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

(4) 協議体の移行支援・運営支援

地域だけでは解決の難しい課題について、各種別社会福祉施設協議会との地域における公益的な取組みの推進に関する協定等を活用し、社会福祉施設等地域の関係団体との連携を図りながら、地域の話し合いの場の充実への支援を行いました。

① 協議体への運営支援 273回、延べ5,204人

(5) 地域生活課題等に関する相談件数及びその対応

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合への参加などを通じ、地域生活課題やサロン新設方法などの互助活動に関する相談を受けました。受けた相談は、行政や社会福祉施設等と連携して対応しました。

また、今年度は個別支援として新型コロナウイルス感染症に関する相談も受けました。

① 相談件数

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
個別支援に関する相談(件)	838	4,297	1,793	411	1,154	1,808	147	10,448
互助活動に関する相談(件)	157	281	353	135	143	152	78	1,299

② 相談に対する連携状況(重複あり)

連携先	個別相談	互助活動
行政関係	126	239
地域住民(福祉協力員等)	51	227
関係機関・団体(社会福祉施設等)	10,320	1,002
その他	10	40
合計	10,507	1,508

2 地域における見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との会合や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

3 区役所関係課との連携業務

配置場所の区役所保健福祉課(いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係)をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

4 研修会等への参加

地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした、コーディネーターとしての資質向上を図るため下記の研修に参加しました。

実施日	人員・会場	会議名
R2. 7. 27 ～28	22人 ウェルとばた	「地域支援コーディネーター養成研修」
R2. 7. 27	1人 なかま ハーモニーホール	「第14回福岡県生活支援コーディネーター連絡会」
R2. 9. 25	1人 福岡県農村整備センター	「福岡県生活支援コーディネーター初任者研修」
R2. 12. 8	4人 (オンライン開催)	「生活支援コーディネーター研究協議会」
R3. 3. 6	1人 (オンライン開催)	「生活支援コーディネーター地域サミット in Okinawa」

5 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を開催しました。(9月、10月、2月はオンラインにて開催)

実施日	R2. 8. 19	R2. 9. 28	R2. 10. 21	R2. 12. 16	R3. 2. 17
人員	22	17	20	24	23
主要議題	<ul style="list-style-type: none"> ○事業進捗状況及び推進方法等について ○行政からの連絡事項等 ○連絡事項・情報提供 ○報告、その他 				

◇地域生活支援活動推進事業

公的な福祉サービスだけでは対応の難しい、制度の狭間にいる人の地域生活課題に対応していくため、生活支援活動の担い手を増やし、その活動が円滑に行われるよう、ニーズと活動との需給調整を行う地域生活支援相談員を、今年度は新たに3校(地)区に配置しました。

1 地域生活支援相談員の配置

今年度は新たに3校(地)区(⑤～⑦)に地域生活支援相談員を配置しました。

- ①若松区 高須地区 (平成30年12月から、高須市民センターに配置)
- ②門司区 庄司校区 (平成31年3月から、庄司公民館に配置)
- ③小倉南区 若園校区 (平成31年4月から、若園市民センターに配置)
- ④小倉南区 貫校区 (令和元年7月から、貫市民センターに配置)
- ⑤門司区 田野浦校区 (令和2年7月から、田野浦公民館に配置)
- ⑥小倉南区 守恒校区 (令和2年8月から、守恒市民センターに配置)
- ⑦小倉北区 西小倉校区 (令和2年11月から、西小倉市民センターに配置)

2 事業内容

(1) 生活支援活動を担う地域住民等の把握、発掘、養成

地域で生活支援活動を行っている住民や活動希望のある住民の相談・把握を行うとともに、地域での行事や生活支援活動への参加を促しました。

■住民アンケートによる活動希望者の把握

- ・対象者生活状況アンケート(田野浦) 回答者 98名中 28名
- ・生活支援アンケート(守恒) 回答者 1,013名中 322名
- ・生活支援サービスのニーズに関するアンケート(西小倉)
回答者 320名中 54名

■福祉のまちづくり講座(西小倉)

- ・ふれあいネットワーク活動とは
- ・高須地区事例発表等 参加者 35名

(2) 生活支援を必要とする方の把握及び相談

市民センターや公民館などのコミュニティ施設を拠点として、困りごとを抱えた方からの相談に応じました。また、福祉協力員や民生委員・児童委員、老人クラブ等と連携して要支援者の把握を行いました。

■新規相談者 139人

■内容別相談受付件数

内容	ゴミ出し	掃除	(買物・通院等) 同行	(買物等) 代行	草取り 庭木剪定	修理 家具等の	見守り	操作 携帯・PC	その他	合計
件数 (延べ)	93	16	13	134	38	9	182	33	243	761

(3) 助け合い活動のための調整活動

助け合い活動の風土づくりのために、生活支援活動の事業周知や、活動実施に必要な訪問活動や会議への参画、その他関係団体との調整活動を行いました。

■助け合い活動のための調整活動

内容	要支援者等への訪問	地域活動(サロン等)への訪問	会議への参画	活動周知	関係団体との打合せ等	合計
件数(延べ)	212	66	165	151	513	1,107

(4) 生活支援活動の需給調整(マッチング)

把握した要支援者やその生活支援ニーズに対して、需給調整(マッチング)を行いました。

■関係機関へのつなぎ

つなぎ先	相談のみ	校(地区)社協	地縁団体(民生委員等)	市社協	行政機関(地域包括等)	社会福祉施設関係	その他	合計
件数(延べ)	81	563	223	11	92	12	28	1,010

■生活支援活動とのマッチング

内容	ゴミ出し	掃除	同行(買物・通院等)	代行(買物等)	庭木剪定草取り	家具等の修理	その他	合計
件数	340	16	10	229	31	7	277	910

◇北九州市社会福祉大会

令和2年度の「北九州市社会福祉大会」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

しかしながら、これまでの活動における功績をたたえるため、去る11月6日に表彰審査委員会を実施し、市社協表彰を決定いたしました。

社会福祉大会を中止した影響により受賞者に対する表彰状、記念品の授与につきましては、一堂に会した表彰式を実施せず、区社協などを通じて、表彰授与を行いました。

また、例年社会福祉大会にて配布しておりました「冊子」は作成せず、広報紙に名簿を掲載し、受賞者へ日々の活動に対する感謝を行いました。

今後も、永年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、本市における福祉活動のさらなる普及と社会福祉の一層の充実を図ります。

1 令和2年度市社協会長表彰受賞者数

表彰区分		受賞者数	
表彰	社会福祉奉仕者	個人の部	239
		団体の部	9
	社会福祉事業施設役職員		80
	社会福祉事業団体役職員		10
	優良地区社協		0
感謝	寄付者		1
	社会福祉奉仕者	個人の部	60
		団体の部	4
特別感謝	ふれあいネットワーク活動25周年		27
合計		430	

2 令和2年度奉仕者（個人）活動区分内訳

活動区分	受賞者数
福祉協力員	177
ニーズ対応チーム	15
送迎ボランティア	33
その他	14
合計	239

◇生活福祉資金

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと民生委員を通じた必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等による減収で、生活資金にお困りの世帯に対する特例貸付の相談や申請受付も行いました。

1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合支援資金	生活支援費	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		820	0	0	522	0	0	0	0	0	0	0	0	1,342
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉費	技能習得費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,856	2,856
	障害者自動車購入経費	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		0	2,000	2,335	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,335
	療養費・葬祭費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住居の移転・給排水設備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	0	126
日常生活上一時的経費	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5	
	0	177	0	40	0	0	0	0	0	97	0	98	412	
緊急小口資金	8	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	14	
	800	0	31	100	0	100	0	100	95	0	0	50	1,276	
教育支援資金	教育支援費	4	0	0	0	0	0	1	6	5	3	20	6	45
		3,333	0	0	0	0	0	414	2,978	2,379	1,015	5,823	3,740	19,682
	就学支援費	4	0	0	0	0	0	1	6	5	3	22	6	47
	1,185	0	0	0	0	0	420	3,054	1,450	976	7,103	2,007	16,195	
不動産担保生活資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		18	3	2	4	0	1	2	13	11	7	43	15	119
		6,138	2,177	2,366	662	0	100	834	6,132	3,924	2,088	13,052	8,751	46,224
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1) 申請(承認)の件数、金額

注2) 福祉資金の、生業費、療養費、葬祭費、住宅増改築経費、福祉用具購入費、災害援護資金、不動産担保型生活資金は今年度申請なし

2 コロナウイルスの影響による特例貸付の申込状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
緊急小口資金		2,218	2,246	1,836	1,450	1,015	689	416
		339,945	343,300	347,000	272,950	188,400	133,400	78,100
総合支援資金	初回	198	1,322	1,549	1,380	1,045	885	456
		105,516	696,466	824,500	724,050	550,260	466,000	243,600
	延長	—	—	—	409	883	1,192	632
		—	—	—	219,279	407,040	634,200	336,600
	再貸付	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
合計		2,416	3,568	3,385	3,239	2,943	2,766	1,504
		445,461	1,039,766	1,171,500	1,216,279	1,145,700	1,233,600	658,300

		11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急小口資金		353	384	397	805	965	12,774
		66,250	72,250	69,840	149,840	185,150	2,246,425
総合支援資金	初回	221	353	318	516	891	9,134
		168,300	185,000	167,800	278,450	477,550	4,887,492
	延長	514	422	267	286	437	5,042
		274,613	224,670	142,200	152,250	234,800	2,625,652
	再貸付	—	—	—	471	1,192	1,663
		—	—	—	254,100	637,350	891,450
合計		1,088	1,159	982	2,078	3,485	28,613
		509,163	481,920	379,840	834,640	1,534,850	10,651,019

注1) 申請の件数、金額

注2) 緊急小口資金の特例貸付申込件数については、各区事務所受付分も含む

◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的とし、共済事業として、福祉年金、脱退一時金、遺族一時金の支給等を行いました。また、福利厚生事業として、給付事業、貸付事業のほか、スポーツ観戦、演劇鑑賞、宿泊事業等のレクリエーション事業を実施しました。

1 共済加入状況の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2
加入施設・団体	217	215	217	218	212
加入人員（人）	4,739	4,785	4,917	4,729	4,818

2 福利厚生事業実施状況

(1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金
(計 353 件、3,431,000 円)

(2) 貸付事業

厚生貸付、結婚貸付、入学貸付 (0 件)

(3) スポーツ観戦事業

ソフトバンクホークス公式戦 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
ギラヴァンツ北九州ホーム戦

1 回目 (2020 シーズン) 1 組 (2 枚) (個人負担額 3,200 円、助成金額 1,372 円)

2 回目 (2021 シーズン) 24 組 (48 枚) (個人負担額 67,200 円、助成金額 28,800 円)

(4) 演劇鑑賞事業

北九州芸術劇場等 4 演目 57 枚 (個人負担額 286,650 円、助成金額 122,850 円)

(5) 宿泊事業

ハイツ&いこいの村及び九州内旅館 12 施設 28 組 (55 枚)
(個人負担額 423,500 円、助成金額 181,500 円)

(6) 家庭用常備薬斡旋事業

1 回目 (4 月) 申込施設数 51 施設、申込件数 224 件、申込金額 784,790 円

2 回目 (8 月) 申込施設数 66 施設、申込件数 339 件、申込金額 974,940 円

3 回目 (12 月) 申込施設数 54 施設、申込件数 215 件、申込金額 772,370 円

3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内容
R2. 9. 10	37 人 ウェルとばた	【テーマ】『新型コロナウイルス感染症対策と社会福祉事業のこれから』 【講師】社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 院長 甲斐 秀信 氏 感染管理医師 戸田 未来雄 氏 感染管理認定看護師 小埜 隆広 氏

◇各施設協議会等との連携

1 各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取組や地域公益事業の推進

令和元年度に各種別社会福祉施設協議会（北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害者施設協議会、北九州市障害児施設連盟、北九州市立母子生活支援施設、北九州市児童養護施設協議会）と締結した「地域における公益的な取組みの推進に関する協定」に基づき、校(地)区社協と社会福祉施設の連携による小地域福祉活動の充実・強化に努めました。

(1) 校(地)区社協と社会福祉施設の連携状況（区別）

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
校(地)区社協	2	2	4	1	1	7	—	17
高齢者施設	1	2	4	2	1	5	—	15
障害者施設	1	—	—	—	—	2	—	3
児童施設	1	—	—	—	1	1	—	3
施設数（計）	3	2	4	2	2	8	—	21

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度実施予定の活動の約7割が活動中止となりました。

(2) 社会福祉充実計画地域協議会の運営

「地域公益事業」を実施するための「社会福祉充実計画」を策定した社会福祉法人がなく、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年度の開催を中止しました。

2 社会福祉施設協議会連絡会の開催

種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深める目的で、市内の各社会福祉施設協議会等の連絡会を開催しました。

(1) 代表者会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 12. 17	6人 ウェルとばた	【報告】 1 第63回大都市社会福祉施設協議会（川崎市大会）の延期について 【議題】 1 地域福祉活動第六次計画の策定について 2 地域における公益的な取組の推進について (1) 令和2年度の取組みについて (2) 「地域における公益的な取組」に関する事例集の作成について (3) 社会福祉施設の出前講演について

第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 実務者会議

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

3 各種別社会福祉施設協議会会議への参画

- ・北九州市児童養護施設協議会施設長会（7回）

◇民生委員互助共励事業

全国の民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	3	1	5	20	9	0	38
金額 (千円)	0	130	30	75	188	39	0	462

2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 令和元年度～令和2年度の2年間
- (2) 指定地区 八幡東区：大蔵地区民生委員児童委員協議会
八幡西区：浅川地区民生委員児童委員協議会

◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全7区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による相談が急増したことから、相談体制の強化を図りました。また、生活福祉資金の特例総合支援資金貸付等の利用者への相談支援についても、生活福祉資金相談コーナーと連携を取りながら行いました。

1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

(1) 事業の周知及び広報

①区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
門司区社協広報紙	1回（5/15）	区内全戸配布等
小倉北区社協広報紙	1回（4/15）	
小倉南区社協広報紙	4回（4/15、7/15、10/15、1/15）	
若松区社協広報紙	0回	
八幡東区社協広報紙	1回（4/15）	
八幡西区社協広報紙	1回（4/15）	
戸畑区社協広報紙	2回（10/15、3/15）	

(2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用の他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

- ①市及び各区の行政関係機関 7団体
- ②社協関係（市：1、区：7、校(地)区：155）
- ③民児協関係（地区民児協：133）
- ④その他の関係機関 20団体

2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

(1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

(2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政のいのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

(3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

区	参加回数	人員（延べ数）	協議件数
小倉北	1	10	38

3 成果

(1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

(2) 困窮者支援を通じた地域づくり

困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長・区社協事務局長会議（毎月）
- 市・区社協地域福祉活動担当国会議（適宜）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（1回）
- 新任福祉協力員等研修（各区1回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）
- 民生委員・児童委員研修（適宜）

4 相談受付支援状況

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計
新規相談受付件数（総数）		729	2,735	1,695	431	459	2,088	408	8,545
	全市に占めるその区の%	8.5%	32.0%	19.8%	5.0%	5.4%	24.5%	4.8%	100%
	月平均件数	60.8	227.9	141.3	35.9	38.3	174	34	712.1
	相談員一人当たり月件数	60.8	76.0	70.6	35.9	38.3	58	34	59.3
プラン作成件数（総数）		166	205	200	54	175	222	38	1,060
	プラン策定率	22.8%	7.5%	11.8%	12.5%	38.1%	10.6%	9.3%	12.4%
就労支援対象者数 <small>（プラン期間中の一般就労を目標としている）</small>		86	73	98	24	91	97	12	481
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	79	0	37	29	109	38	3	295
	一時生活支援事業	1	7	1	0	1	1	1	12
	家計相談支援事業	82	196	162	32	51	190	34	747
	就労準備支援事業	0	1	6	1	10	1	0	19
	就労訓練事業	1	0	0	0	3	0	0	4
	自立相談支援事業による就労支援	1	24	7	33	71	5	5	146
その他	生活福祉資金による貸付	103	106	92	23	84	85	3	496
	生活保護受給者等就労自立促進事業	54	4	58	0	36	82	1	235
就労者数（一般就労総数）		39	34	43	8	12	109	12	257
	うち就労支援対象プラン作成者分	18	22	20	0	10	34	2	106
増収者数（総数）		38	6	25	3	49	34	30	185
	うち就労支援対象プラン作成者分	10	4	3	1	20	15	3	56

5 住居確保給付金の申請受付状況（新型コロナウイルスの影響による特例申請分含む）

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	7区計
住居確保給付金決定件数（総数）		130	803	605	123	105	331	88	2,185

6 共同事業体の運営

平成28年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

実施日	人員・会場	内容
R3.2.22	グリーンコープ3人 市社協4人 ウエルとばた	第1回運営委員会

◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成28年4月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業を開始しました。

福祉人材の確保に資する取組みとして、貸付相談窓口を設け、事業実施しました。

1 貸付の内容と実施状況

(1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
15	5,078,929

(2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
23	5,101,650

◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

平成29年7月から、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的に、高等職業訓練促進資金貸付事業を開始しました。

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学する方で、将来取得する資格が必要な業務に従事しようとする方に対して資金を貸し付け、その就学を容易にすることにより資格取得の促進を図っています。

1 貸付の内容と実施状況

(1) 入学準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、資格の取得のために養成機関へ入学することになった場合に、入学準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
18	9,000,000

(2) 就職準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、養成機関の課程を修了し、取得した資格が必要な業務に従事する場合、その就職に必要な準備金の貸付を行うもの。

貸付件数	貸付額
22	4,400,000

◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービス相談員派遣事業は介護サービスの質の向上を図ることを目的として、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者サービス向上、改善に結びつく提案などを行うものです。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で各事業所が部外者の訪問を制限したため、事業所の新規募集は行わず、年度末に95事業所のうち訪問再開を希望する2事業所を訪問しましたが、年間3回の訪問に留まり、介護サービス相談員の活動は、ほぼ休止しました。年度末の再開に当たっては、担当介護サービス相談員への感染予防対策研修を行いました。

また、平成28年度からデイサービスの運営推進会議に参加していますが、新型コロナウイルス感染予防のため、市から委託された120事業所では、運営推進会議は開催されず、書面開催となったため、介護サービス相談員は参加しませんでした。

さらに、介護サービス相談員活動及び連絡会・研修が行えないため、テキスト「ケアに関わるすべての人へ 身体拘束禁止の取り組みのために」を介護サービス相談員に配布し、自己学習を実施してもらい、レポートを提出していただきました。対象70名に対して65名の介護サービス相談員よりレポートの提出があり、普段の活動の中の悩みや事業所の対応に関する意見などが聴ける良い機会となりました。

1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 事業所に 伝えた件数
					事業所に伝えた 件数			相談者の希望により 伝えなかった件数			
	回数	時間	人数	件数	つ 利 用 者 に て	つ 施 設 に て	そ の 他	つ 利 用 者 に て	つ 施 設 に て	そ の 他	
介護老人福祉施設	1	1:00	19	21	0	1	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小規模多機能型居宅介護	2	2:00	13	49	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3:00	32	70	0	1	0	0	0	0	0

2 過年度派遣事業の推移

年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	合計 (カ所)	相談員数 (人)
H28	44	6	0	0	51	3	17	121	94
H29	36	5	0	0	48	3	15	107	84
H30	38	9	0	0	46	3	15	111	80
R1	37	9	0	0	40	3	11	100	80
R2	35	9	0	0	39	2	10	95	74

3 新規派遣開始事業所

施設種別	新規派遣開始	継続派遣中	合計 (カ所)
	R2. 1～	(R2. 4)	(R3. 3)
介護老人福祉施設	0	35	35
介護老人保健施設	0	9	9
認知症対応型共同生活介護	0	39	39
介護療養型医療施設	0	2	2
小規模多機能型居宅介護	0	10	10
計	0	95	95

4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了事業所数	派遣年数	派遣期間	派遣満了から派遣延長希望
介護老人福祉施設	7	5	H27. 9～R3. 3	6
介護老人保健施設	2	5	H27. 9～R3. 3	1
認知症対応型共同生活介護	12	3	H29. 9～R3. 3	11
小規模多機能型居宅介護	4	3	H29. 9～R3. 3	4
介護療養型医療施設	1	5	H27. 9～R3. 3	1
合計	26 カ所			23 カ所

※本来ならば令和3年3月末で派遣期間が終了となるが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で活動が休止となったため、介護保険課と協議した結果、対象事業所へ希望を確認し終了期間を1年延長した。3事業所のみ辞退の申し出あり

5 介護サービス相談員構成

(単位:人)

内 訳	男性	女性	合計
支援員（市社協非常勤職員）	0	9	9
見守りサポーター	0	16	16
北九州市社会福祉協議会 退職職員	1	1	2
一般公募者（平成 20 年度より）	2	22	24
権利擁護・市民後見センター支援員	2	6	8
その他	0	15	15
計（R3.3 末現在）	5	69	74

6 介護サービス相談員連絡会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止

7 研修・報告会

研 修

実施日	会場・人員	内容
R3.1.15 18.19	7人 ウエルとばた7階 連絡事務室（小）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大により休止していた活動の再開に向け、訪問可能な事業所の担当者に向けて講義（DVD視聴）を実施 ・新型コロナウイルス感染症との闘い方 ～ウイルスを持ち込まない、拡げない、持ち出させない～ 企画：北九州市保健福祉局地域福祉部介護保険課 監修：NPO法人KRICT

自己学習

実施日	会場・人員	内容
R3.8.13～ 9.11	70人 介護サービス相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染症予防対策として年4回開催する連絡会が中止となったため、自己学習を実施。テキストとして「ケアに関わるすべての人へ 身体拘束禁止の取り組みのために」を購入し、現在活動中、もしくは活動を休止していても連絡会に参加している介護サービス相談員を対象としテキストを配布、学習後レポートの提出を実施した。 (送付人数70人、レポート提出65人、回収92.9%)

8 運営推進会議の参加状況

年度	事業所数	運営推進会議 参加依頼件数	運営推進会議 出席件数	参加率
H28	143 ヲ所	76	68	90%
H29	139 ヲ所	168	150	89%
H30	127 ヲ所	154	132	86%
H31 (4月～6月)	120 ヲ所	25	20	80%
R1 (7月～3月)	120 ヲ所	128	96	75%
R2	120 ヲ所	0	0	0

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により運営推進会議に参加できず

◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月中旬から6月中旬、1月中旬から3月中旬まで講座の開催を中止しました。開催時は、検温の実施、マスクの着用、最低1mのソーシャルディスタンスの確保、発症者が出た場合の対応のための座席表の提出、窓のある場合は窓の開放などを義務づけました。

認知症サポーター養成講座受講者 1,323 人、認知症サポーターステップアップ講座受講者 57 人、合計受講者 1,380 人、令和2年度末現在の認知症サポーターの累計が 95,748 人となりました。

1 認知症サポーター養成講座実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	2	74
	社協関係	9	135
	その他	13	185
企業		5	58
学校		11	405
行政		17	466
計		57	1,323

2 認知症サポーターステップアップ講座実施状況

団体種別		開催回数	サポーター人数
住民団体	校(地)区社協	0	0
	社協関係	2	57
	その他	0	0
企業		0	0
学校		0	0
行政		0	0
計		2	57

3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等
北九州市ホームページ
社会福祉協議会のふくし出前講演
市社協ホームページ事業概要
市・区社協各部署
市政だより

北九州市社協だより・各区区社協だより
コムシティ入居団体
メール配信システム

4 キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	人員・会場	内容
R2. 8. 22	53人 ウエルとばた	キャラバン・メイト全体研修 1 講義：「本市の現状と認知症施策等について」 講師：北九州市認知症支援・介護予防センター 2 講義：「新テキストを使った認知症サポーター養成講座（基礎編）」 講師：北九州市認知症支援・介護予防センター 地域活動コーディネーター
R3. 1. 5 ～ R3. 1. 8	3人 個別対応	キャラバン・メイト新任者研修 ・北九州市の現状と認知症施策について ・講座の開催、基本構成について ・認知症サポーター養成講座の配布資料 ・キャラバン・メイト活動意向調査 ・認知症サポーター養成講座の見学案内
R3. 1. 30	中止	講義：「コロナ禍における認知症疾患医療現場からのメッセージ」 講師：北九州市認知症疾患医療センター たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生 氏

5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人数
(中止) R2. 6. 10	ウエルとばた	-	-
R2. 8. 19	ウエルとばた	基礎編：尾形 奈々美 氏	17
R2. 10. 10	小倉南生涯学習センター	基礎編：石井 朱實 氏	25
		応用編：大塚 千保 氏	29
R2. 12. 6	八幡西生涯学習総合センター	基礎編：渡部 文華 氏	33
		応用編：猪熊 和仁 氏	28

6 メール配信サービス状況

登録者数			配信回数	
男性	女性	計	前年度より増加	認知症関連イベント情報
2, 125	3, 332	5, 457	133	4

◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大しましたが、この事業については、継続の要望が強く、派遣延べ件数は前年度を上回りました。実施にあたっては、利用者、見守りサポーター両方に、検温の実施、マスクの着用、最低1mのソーシャルディスタンスの確保、窓の開放による定期的な換気などを義務づけました。

1 派遣状況等

年度	新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
H30	8	8	8	204
R1	9	9	11	150
R2	12	11	10	200

2 関係機関等との連絡調整

相手先	内容	申請方法	利用内容 活動内容	スケジュール 体調確認	その他	合計
家族		4	3	177	4	188
サポーター		0	0	226	0	226
ケアマネジャー		12	11	17	4	44
地域包括等		5	8	0	7	20
その他（市民等）		3	2	0	2	7
計		24	24	420	17	485

3 過年度利用状況の推移

年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
H28	46	59	53	176
H29	35	55	55	134
H30	35	96	49	204
R1	33	61	43	150
R2	34	57	43	200

4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内容
R2. 7. 30	16人 ウェルとばた	講義：「お家でできる健康体操」 講師：スポーツインストラクター 友池 千恵子 氏 ・コロナ禍で気力、体力共に減退していた見守りサポーターの健康回復を目的に、タオルを使ったストレッチや体を動かしながらの脳トレを実践した。
R3. 1. 19	14人 ウェルとばた	講義：「新型コロナウイルス感染対策について」 講師：社会医療法人財団 池友会 新小文字病院 感染管理認定看護師 小埜 隆広 氏 ・コロナ禍で感染予防対策の徹底が必要とされるなか、正しい手洗いの仕方、マスクの着脱方法、ブラックライトを使って洗い残しを目視するなど実践と研修を行った。

5 事業説明・紹介

内容	回数	人員
年長者研修大学校	0	0
校(地)区社協関連会議	2	78
居宅・医療・施設	2	15
住民	1	26
企業	2	20
市・区社協各部署	36	927
地域包括(統括)支援センター	1	30
学校(学生)	9	197
その他	0	0
合計	53	1,293

6 チラシ・報告書等の作成

名称	発行部数	発行日等
高齢者見守りサポーター派遣事業(リーフレット)	6,000	R2. 7. 16

7 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数（電話 回答含む）	未回答数	回答率
R3. 1. 25	31	31	0	100%
<p>(調査結果概要)</p> <p>今回は登録者（令和元年度新規登録者と現在利用中の方を除く）を対象にアンケートを実施した。</p> <p>1. 未利用の理由として、①介護保険で対応 16 人(35%) ②家族の介護で対応 12 人(27%)③状態が落ち着いている 5 人(11%) ④施設入所 3 人(7%) ⑤その他 9 人(20%)</p> <p>2. 今後の利用については、①すぐに利用再開 0 人(0%) ②しばらくして利用 0 人(0%) ③いまのところ利用の予定なし 23 人(74%) ④取消希望 8 人(26%)</p>				

8 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
R3. 1. 5	47 (R3. 1. 5 現在)	43 (R3. 4. 1 現在)	4

◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成12年度から北九州市より受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の65歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、運動等のプログラムを提供し、介護予防や自立支援を図ることを目的に、市内50か所の市民センターにおいて実施しました。

平均年齢81.7歳、約600人の高齢者、延べ24,427人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

各市民センターのプログラムの実施状況等は毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題に対しては、ミーティングや年1回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、4月から7月半ばまでは、当事業も休止していました。その間、支援員には、利用者が自宅で介護予防に取り組むことができるような資料を作成し、郵送してもらうなど、感染予防を講じたうえで行える業務に従事してもらいました。

再開後も昼食会は中止しており、10名以上の利用者がいるセンターでは、曜日を分け、半分の定員で実施しました。実施する場合は、検温の実施、マスクの着用、最低1mのソーシャルディスタンスの確保などを義務づけました。その後、利用できる部屋の大きさに応じて全員で実施することを可能としましたが、現時点でも一部のセンターでは、曜日により半分の人数で実施するなど影響は残っています。

1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	66	12	395	0	395	6.0
	清見	64	10	444	58	386	6.9
	白野江	70	11	550	0	550	7.9
	錦町	67	8	342	0	342	5.1
	萩ヶ丘	66	16	507	34	473	7.7
	松ヶ江北	67	12	566	96	470	8.4
	丸山	67	11	551	0	551	8.2
小倉北区 ⑨	足原	63	9	337	0	337	5.3
	足立	65	18	664	0	664	10.2
	今町	66	14	636	47	589	9.6
	清水	67	24	997	75	922	14.9
	寿山	65	13	525	0	525	8.1
	中島	63	12	474	0	474	7.5
	西小倉	66	10	361	46	315	5.5
	南小倉	66	10	385	0	385	5.8
	井堀	70	7	303	0	303	4.3

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
小倉南区 ⑨	長行	70	7	352	0	352	5.0
	葛原	66	10	503	0	503	7.6
	曾根	66	17	554	0	554	8.4
	長尾	65	10	369	46	323	5.7
	貫	65	10	453	0	453	7.0
	東朽網	52	15	438	22	416	8.4
	守恒	70	15	591	98	493	8.4
	湯川	65	14	409	104	305	6.3
	若園	70	8	495	66	429	7.1
若松区 ⑤	赤崎	67	14	657	47	610	9.8
	高須	66	7	297	0	297	4.5
	深町	67	7	311	0	311	4.6
	二島	66	9	448	0	448	6.8
	若松中央	68	11	390	0	390	5.7
八幡東区 ⑤	枝光	66	6	288	14	274	4.4
	枝光南	70	12	583	112	471	8.3
	尾倉	70	7	429	0	429	6.1
	槻田	66	10	441	172	269	6.7
	前田	70	11	456	37	419	6.5
八幡西区 ⑪	青山	64	14	609	0	609	9.5
	赤坂	66	8	376	38	338	5.7
	浅川	63	11	424	0	424	6.7
	池田	67	9	543	0	543	8.1
	永犬丸	69	15	517	29	488	7.5
	大原	63	20	716	0	716	11.4
	楠橋	55	25	883	44	839	16.1
	木屋瀬	67	10	485	0	485	7.2
	塔野	67	14	631	52	579	9.4
	鳴水	70	9	441	0	441	6.3
	本城	66	7	366	0	366	5.5
戸畑区 ④	大谷	70	14	561	0	561	8.0
	浅生	69	12	547	0	547	7.9
	中原	70	9	498	14	484	7.1
	牧山東	66	10	329	3	326	5.0
計 (50 館)		3,315	584	24,427	1,254	23,173	7.37

2 過年度利用状況の推移

※令和2年4～7月半ばは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均利用者数
H28	50	703	4,583	53,046	11.6
H29	50	690	4,616	52,598	11.4
H30	50	655	4,570	49,657	10.9
R1	50	622	4,115	42,065	10.2
R2	50	584	3,315	24,427	7.37

3 研修会

実施日	人員・会場	内容
R2.4.1 ～R3.3.31 の間で延べ 11回	12人 (対象：新採職員) 市民センター	令和2年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
R2.11.18 (午前・午後) R2.11.19 (午前・午後) 延べ4回	140人 ウエルとばた	令和2年度支援員現任研修 ・テーマ1「新型コロナウイルス感染症対策」 (講師) 新小文字病院 感染対策委員会 感染管理認定看護師 小埜 隆広 氏 ・テーマ2「簡単に出来る!健康体操」 (講師) 11/18(午前の部) 山本 浩子 氏 (午後の部) 長谷川 明美 氏 11/19(午前の部) 野中 千恵子 氏 (午後の部) 菊池 一恵 氏
計 (15回)	152人	

4 会議

会議名	実施回数	内容
生活福祉課定例会	12	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
支援員会議 (会議形式)		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
ミーティング	452	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング(各市民センター月1回、2時間程度) ※緊急事態宣言発令による事業中止のため、4月～6月までは一部のセンターを除き中止
計	464	

5 全体行事

「年長者作品展」への出展

高齢者地域交流支援通所事業のプログラムの中で、利用者が製作した様々な作品を各区事務所主催の「年長者作品展」に出展しました。

開催区	実施日	会場
若松	R2. 11. 16～ R3. 2. 28	若松区事務所のHP上にて開催

※門司区、小倉南区、八幡東区、八幡西区、戸畑区においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

6 指導員による業務支援

種別	回数	内容
指導員の話	58	指導員による共通テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕介護予防、共同募金、高齢者のための 便利なサービス等
プログラム運営支援	42	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、 定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	768	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業運 営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	56	支援員の休務の際のバックアップ
計	924	

7 各種交流事業

種別	内容
世代間交流	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止
地域・団体との交流	

8 実習生の受入

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から受入を中止

9 支援員面接選考

実施日	会場	内容
R2. 8. 4 ～R3. 3. 30 の間で延べ6回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、 選考委員会（市民センター館長、まちづくり 協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試 験を実施

10 広報・啓発

内容	実施回
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	0
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募集	12
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員募集	13
計	25

◇健康マイレージ事業

健康マイレージ事業は、生涯を通じた健康づくりを推進するため、40歳以上の市民を対象に、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや各種健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進することを目的としています。この事業は、平成21年度から始まりましたが、当初3年間は市が直接実施し、平成24年度から社協が受託しました。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い従来の「事業登録制の集団で取り組む健康活動やイベント参加」によるポイント制を止め、「自宅で個人が取り組める健康づくり」実施によるポイント制に変更しました。取り組み前後の身長・体重・BMI（肥満度判定基準）を測定し、塩分チェック。健康づくりのための3つの取り組み「運動」・「栄養」・「お口の健康」を2か月以上実施。各種健康診断の受診を行えば、応募できることとしました。

全員景品も「きたきゅう健康づくり応援店の優待カード」と65歳以上の方を対象とした北九州市立スポーツ施設利用券としました。抽選景品も「きたきゅう健康づくり応援店の2,000円食事券」と地産地消商品などを加え1,000名分としました。

また、実施期間も新型コロナウイルス感染拡大状況に配慮し、令和2年9月1日から令和3年1月31日を健康づくり活動期間、令和2年11月2日から令和3年1月31日を応募受付期間としました。さらに今年度は、北九州市健康アプリ「Go!Go!あるくっちゃKitaQ」からも応募が出来るようになり、3,365人の方のご応募をいただきました。

その具体的な取り組みとして、リーフレット等の広報啓発物を用いたPRや職員による出前形式の事業説明を延べ752回実施するとともに、ホームページでのブログの更新、社協だよりや市民センターだよりなどの広報紙に掲載し、社協の組織力を十分に活用した幅広い活動を行いました。

また、校(地)区社協の福祉協力員等を主体に、見守り対象者への健康づくり活動等への参加の呼びかけを行い、「ふれあいネットワーク活動」の充実強化にも努めました。

1 実施状況

(1) 実施期間

- ① 健康づくり活動期間：令和2年9月1日～令和3年1月31日
- ② 応募受付期間：令和2年11月2日～令和3年1月31日

(2) 広報・啓発活動等実施実績

① 事業説明・パンフレット等配布実績

項目	年度		
	R2	R1	増減
事業説明回数(回)	752	1,673	▲921
リーフレット配布数(部)	135,657	191,192	▲55,535

② 広報紙等への掲載回数実績

種別	年度	
	R2	R1
市政だより・区役所の発行する広報紙	3	9
市民センターだより	302	320
市社協・区社協・校(地)区社協の発行する広報紙	15	23
その他の地域団体、企業が発行する広報紙	2	3
新聞・フリーペーパー	1	0
計	323	355

③ ホームページへの掲載 3回

④ コーディネーター等によるイベント・事業でのPR活動

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベント、大会等が中止になりPR活動が減少した。

(3) 校(地)区社協による啓発活動実績

活動期間：令和2年9月1日～令和3年1月31日

区社協	校(地)区社協数	啓発活動回数合計(回)				活動費 交付額
		連絡調整	広報	参加促進	計	
門司	20	68	78	1,813	1,959	1,000,000
小倉北	25	124	120	1,985	2,229	1,250,000
小倉南	25	133	85	2,997	3,215	1,250,000
若松	14	54	67	1,296	1,417	675,500
八幡東	21	105	58	1,917	2,080	1,042,000
八幡西	33	204	385	3,627	4,216	1,601,500
戸畑	14	60	107	2,381	2,548	675,000
計	152	748	900	16,016	17,664	7,494,000

2 応募者実績

(1) 応募件数推移

項目	年度				
	H28	H29	H30	R1	R2
応募総数(件)	22,236	20,959	20,465	19,587	3,417
有効件数	21,750	20,573	20,061	19,302	3,365
無効件数	486	386	404	285	52
前年比(%) (有効件数)	80	94.6	97.5	96.2	17.4

※無効件数は、年齢非対象、重複応募及び内容未記入等のもの

ア 性別応募者実績

年度等 性別	R2	R1	増減	前年比 (%)
男性	1,114	6,004	▲4,890	18.6
女性	2,251	13,298	▲11,047	16.9
計	3,365	19,302	▲15,937	17.4

イ 区別応募者実績

区等	R2				R1 (計)	増減	前年比 (%)
	男	女	計	割合 (%)			
門司	102	268	370	11.0	2,088	▲1,718	17.7
小倉北	145	341	486	14.4	2,796	▲2,310	17.4
小倉南	216	363	579	17.2	3,679	▲3,100	15.7
若松	91	220	311	9.2	1,567	▲1,256	19.8
八幡東	96	172	268	8.0	1,734	▲1,466	15.5
八幡西	357	701	1,058	31.5	5,776	▲4,718	18.3
戸畑	97	178	275	8.2	1,614	▲1,339	17.0
市外	10	8	18	0.5	48	▲30	37.5
計	1,114	2,251	3,365	100	19,302	▲15,937	17.4

※市外の応募者は、市内在勤の本人確認をした人数を計上

ウ 年齢別応募者実績

年齢	R2			
	男	女	計	割合 (%)
40～49 歳	78	164	242	7.2
50～59 歳	114	246	360	10.7
60～64 歳	77	163	240	7.1
65～69 歳	168	319	487	14.5
70～74 歳	239	520	759	22.6
75～79 歳	258	473	731	21.7
80 歳～	180	366	546	16.2
計	1,114	2,251	3,365	100

エ 健診別応募者実績

年度等 種別	R2	R1	増減	前年比 (%)
特定健診	953	4,948	▲3,995	19.2
その他の検診	2,412	22,803	▲20,391	10.5
計	3,365	27,751	▲24,386	12.1

※その他は、協会けんぽ、職場の健診、後期高齢者健診、後期高齢者歯科健診、肝炎ウイルス検査、脳ドッグ、骨粗しょう症検診、歯周病(歯周疾患)検診、人間ドック、がん検診、PET健診、被爆者検診

オ 景品別応募者実績

ポイント	景品名	発送数 (件)	割合 (%)
10	きたきゅう健康づくり応援店「優待カード」	2,191	65.1
	体育館利用券	528	15.7
	トレーニング室利用券	225	6.7
	陸上競技場利用券	10	0.3
	庭球場（砂入人口芝コート）利用券	68	2.0
	庭球場（クレートコート等）利用券	22	0.6
	弓道場利用券	18	0.5
	柔剣道場・武道場利用券	7	0.5
	室内プール利用券（7・8月）	122	3.6
	室内プール利用券（7・8月以外の月）	161	4.7
	屋外プール利用券（7・8月のみ開場）	13	0.3
計		3,365	100

(2) 応募者アンケートの実施

	アンケート数	回収数	回収率(%)
アンケート用紙	323	225	77.3
電子申請受付分	364	265	72.8

3 コーディネーター等業務連絡会議の開催実績

年月日	人員	会場	内容
R2. 8. 7	17	ウェルとばた	効果的な事業運営のための調整、課題協議、企画検討、業務報告、情報交換・共有等
R2. 9. 4	17		
R2. 10. 6	17		
R2. 11. 6	17		
R2. 12. 4	16		
R3. 1. 6	15		
計6回	99		

◇地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業では、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う「金銭管理・生活支援サービス」、大切なものをお預かりする「財産保管サービス」を実施しています。

今年度の新規契約者数は35人（昨年比16人減）で、年度末の実契約者数は297人でした。

また、平成12年4月の権利擁護・市民後見センター開設から20年にあたり、北九州市、北九州成年後見センターみるととの共催で、オンライン配信も活用して、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度との一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを考える「らいと開設20周年記念権利擁護セミナー」を開催しました。

1 事業運営の適正化

- (1) 運用委員会の開催（8回）
- (2) 会計監査の実施（1回 対象者295人）
- (3) 事業監査の実施（1回 対象者275人）
- (4) 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行（全利用者）
- (5) 福岡県運営適正化委員会による日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）に対する現地調査（1回）

2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催（1回 会場54人 オンライン45人）
- (2) 北九州成年後見センター理事会への参加（11回）
- (3) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（4回）
- (4) 統括・地域包括支援センター派遣職員業務連絡会への参加（1回）

3 職員資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催（2回）
第2回目は、「北九州市社会貢献型市民後見人養成事業」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- (2) 専門性を高めるための研修会への参加（6回）

4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（6回 参加者112人）
- (2) らいとホームページの活用（更新3回）
- (3) らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催（1回 会場54人 オンライン45人）【再掲】

5 サービス内容

(1) 相談

ア 内容 (件数)

相談内容	相談者 本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	支援団体 ホームレス	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
金 銭 管 理	2	2	1	1	18	12	43	0	0	7	4	0	3	93
財産保全・財産侵害	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	4
相続・遺言	8	10	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	21
福祉サービスへの苦情	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
日常生活の問題	5	5	0	0	3	4	5	0	1	2	2	0	2	29
福祉サービスの手続き	2	3	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	9
親族・家族関係	8	5	1	0	2	4	12	0	0	2	1	0	3	38
成年後見制度	16	35	1	0	6	4	20	0	1	7	9	0	7	106
その他(本事業の問い合わせ)	36	35	6	2	45	31	58	0	2	26	16	0	10	267
合 計	82	97	9	3	76	55	140	0	4	48	34	0	26	574

イ 対象者 (件数)

相談の対象者	本人	家族・親族	行政機関			障害者支援団体	介護事業所	民生委員	区社協	施設	医療機関	支援団体 ホームレス	その他	合計
			保健福祉	包括支援	保護									
認知症高齢者	14	38	2	1	27	6	77	0	0	28	14	0	0	207
障害者	知的	2	2	1	0	9	16	5	0	4	2	0	3	44
	精神	17	7	2	2	17	18	4	0	3	2	3	0	79
その他	13	11	2	0	12	10	15	0	1	3	4	0	13	84
合 計	46	58	7	3	65	50	101	0	4	37	23	0	20	414

(2) 調査および調整 (件数)

	認知症 高齢者	障害者		その他	合計
		知的	精神		
調 査	472	144	420	112	1,148
調 整	4,800	2,942	4,046	208	11,996

(3) 他機関紹介 (件数)

弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	消費生活センター	行政機関	介護支援事業者	施設	医療機関	その他	合計
2	1	0	0	9	0	0	1	79	92

(4) 契約締結状況

ア 件数

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合計
		知的	精神		
前年度までの契約締結件数(A) (契約締結者数)	201 (162)	113 (79)	75 (58)	17 (12)	406 (311)
財産保管	40	42	19	5	106
金銭管理・生活支援	161	71	56	12	300
今年度の契約締結件数(B) (契約締結者数)	20 (16)	8 (5)	17 (13)	1 (1)	46 (35)
財産保管	4	2	4	0	10
金銭管理・生活支援	16	6	13	1	36
今年度の契約解除件数(C) (契約解除者数)	40 (32)	4 (3)	15 (12)	2 (2)	61 (49)
財産保管	8	1	3	0	12
金銭管理・生活支援	32	3	12	2	49
今年度末の契約締結(A+B-C) (契約締結者数)	181 (146)	117 (81)	77 (59)	16 (11)	391 (297)
財産保管	36	43	20	5	104
金銭管理・生活支援	145	74	57	11	287

イ 契約内容別 (人数)

	金銭管理・財産保管	金銭管理のみ	財産保管のみ	合計
契約締結者数	94	193	10	297

ウ 契約者の居住区 (人数)

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
25	88	64	23	35	43	19	297

エ 解約理由 (件数)

	認知症 高齢者	障 害 者		その他	合 計
		知的	精神		
死 亡	20	1	2	1	24
市外へ転居	4	0	0	0	4
入院・入所	0	0	0	0	0
本人の意思	4	1	6	1	12
能力の喪失	0	0	0	0	0
管理の移管	4	1	4	0	9
合 計	32	3	12	2	49

(5) サービスの実施状況 (件数)

		認知症 高齢者	障害者		その他	合計
			知的	精神		
財産保管サービス		7	3	5	0	15
金銭管理サービス		2,093	1,288	920	187	4,488
生活支援サービス	定期訪問による見守り	1,652	1,238	801	175	3,866
	福祉サービスの利用状況の確認・情報提供	1,674	928	672	149	3,423
	福祉サービスの利用手続きに関すること	8	0	1	2	11
	諸手続きの同行・代行	216	60	65	13	354
	権利侵害等の問題を関係機関につなぐ	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
合計		5,650	3,517	2,464	526	12,157

6 利用者の推移

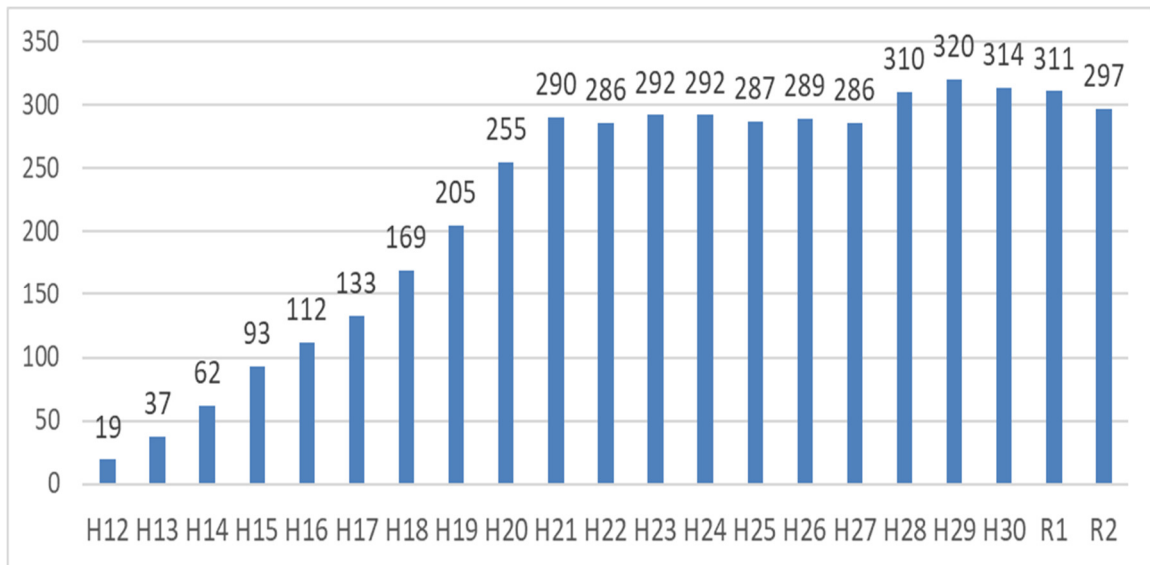
(1) 年度別契約成立者数の推移 (人数)

年度	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計	前年度比
H28	41	16	16	4	77	30 (64%増)
H29	49	7	11	3	70	▲7 (9%減)
H30	23	11	7	1	42	▲28 (60%減)
R1	32	10	8	1	51	9 (22%増)
R2	16	5	13	1	35	▲16 (31%減)

(2) 各年度末利用者実数の推移 (人数)

年度	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他	計	前年度比
H28	178	72	52	8	310	24 (8%増)
H29	181	73	55	11	320	10 (3%増)
H30	173	72	58	11	314	▲6 (2%減)
R1	162	79	58	12	311	▲3 (1%減)
R2	146	81	59	11	297	▲14 (5%減)

【H12～年度末利用者実数の推移】



◇法人後見事業

国の成年後見制度利用促進計画が策定され、各市区町村における権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりが進められるなか、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取り組みが全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

本会が平成21年度から取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、令和2年度末現在の受任件数は44件（成年被後見人26人、被保佐人13人、被補助人5人）となっています。

1 事業運営の適正化

- (1) 運用委員会の開催（8回）【再掲】
- (2) 会計監査の実施（1回 対象者44人）【再掲】

2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催（1回 会場54人 オンライン45人）【再掲】
- (2) 北九州成年後見センター理事会への参加（11回）【再掲】
- (3) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（4回）【再掲】
- (4) 地域連携ネットワーク構築のための会議への参加（3回）

3 職員の資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催（2回）【再掲】

4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（6回 参加者112人）【再掲】
- (2) らいとホームページの活用（更新3回）【再掲】
- (3) らいと開設20周年記念権利擁護セミナーの開催（1回 会場54人 オンライン45人）【再掲】

5 法人後見事業の受任状況

- (1) 年度末受任状況（44件：後見26件、保佐13件、補助5件）

(2) 月別新規受任状況

(単位：人)

		認知症 高齢者	障害者		その他	計			認知症 高齢者	障害者		その他	計
			知的	精神						知的	精神		
4月	後見	0	0	0	0	0	10月	後見	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0
5月	後見	0	0	1	0	1	11月	後見	1	0	0	0	1
	保佐	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0
6月	後見	0	0	0	0	0	12月	後見	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0		保佐	0	1	0	0	1
	補助	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0
7月	後見	1	0	0	0	1	1月	後見	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0
8月	後見	0	0	0	0	0	2月	後見	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0
9月	後見	1	0	0	0	1	3月	後見	0	0	0	0	0
	保佐	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0
	補助	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0
							計	後見	3	0	1	0	4
								保佐	0	1	0	0	1
								補助	0	0	0	0	0
								計	3	1	1	0	5

(3) 新規受任ケースの申立状況

(単位：人)

	後見			保佐			補助			合計
	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	
本人申立	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
親族申立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
市長申立	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	2	2	1	0	0	0	0	0	5

(4) 年間活動回数 (1,356回)

(5) 後見報酬請求状況

請求人数	43 (後見 26、保佐 12、補助 5)
金額	8,429,989

◇市民後見人養成・支援事業

認知症や障害により判断能力が不十分な人を法的に保護する成年後見制度の普及に伴い、後見人不足、とりわけ専門職後見人の不足が懸念されています。そのため、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する市民後見人の育成が全国的に進められています。

北九州市では、平成19年度から社会貢献型市民後見人養成研修を開催し、これまでに第1期生から9期生までの133名が全課程を修了しています。

しかし、専門性・継続性が必要な後見業務を一般市民が個人で行うのは負担が大きいことや、家庭裁判所が市民後見人の選任には慎重であることから、市民後見人の活動をサポートするしくみが不可欠です。

本会では、平成11年10月から地域福祉権利擁護事業に、平成21年度から法人後見事業に取り組んでおり、これまでにさまざまなケースの後見業務を担ってきました。培ってきたノウハウを活かしながら、市民後見人養成講座修了生が直接的援助者として活躍できる体制を、市と協議しつつ整備してきました。

そうした中、令和元年9月に、市民後見人候補者名簿に登録している一人が県内初の市民後見人に選任され、令和2年6月には二人目の市民後見人が誕生しました。

なお、今年度は第9期社会貢献型市民後見人養成実務研修を実施し11人が修了しました。

また、第9期までの修了生のうち個人で市民後見人として活動を行うことを希望している36名が、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録されました。

1 社会貢献型市民後見人養成事業

(1) 第9期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業基礎研修（全2日間）

実施日	人員・会場	内容
R2. 7. 11	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者16人 ウエルとばた	① 消費者保護について 北九州市消費生活相談員協会 総括主任 消費生活相談員 土井 麻紀 氏 ② 障害のある人を取りまく状況 北九州市保健福祉局障害福祉企画課 企画調整係長 吉武 祐輝 氏 ③ 障害福祉施策 北九州市保健福祉局障害者支援課 障害者事業支援係長 重吉 桂司 氏 北九州市保健福祉局障害者支援課 障害者相談支援係長 岩谷 公雄 氏 ④ 知的障害のある人の理解 北九州市保健福祉局 地域リハビリテーション推進課 心理判定員 大場 清隆 氏 ⑤ 市民後見概論(2) 権利擁護・市民後見センター 所長 河原 一雅 氏

R2. 7. 25	16人 ウエルとばた	① 精神障害のある人の理解 ② 精神障害のある人への支援 社会福祉法人 共生の里 グループホーム心の駅北九州 管理者代理 前原 善泰 氏 ③ 民法の基礎 (1) ④ 民法の基礎 (2) 平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美 氏 ⑤ 知的障害のある人への支援 北九州市障害者基幹相談支援センター 相談員 田中 和江 氏 ⑥ 基礎研修閉講式
-----------	---------------	---

(2) 第9期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業実務研修 (全9日間)

実施日	人員・会場	内容
R2. 8. 8	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 16人 ウエルとばた	① 開講式 オリエンテーション ② 対人援助の基礎 (1) 社会福祉士 清水 博子 氏 ③ 事例検討 (1) (障害者に関して) 障害者基幹相談支援センター 事務局長 内海 和久 氏 弁護士 河原 一雅 氏 ④ 同行実習での留意点 (法人後見事業)
R2. 8. 22	15人 ウエルとばた	① 認知症のある高齢者の生活 障がいがある人の生活と支援の実際 年長者の里グループホーム八幡 施設長 局 亮 氏 戸畑障害者地域活動センター センター長 原田 敦子 氏 ② 成年後見実務の概要 リーガルサポート福岡支部 司法書士 山崎 裕一 氏 ③ 後見等開始申立の実務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 大野 友裕 氏 ④ 後見人就任直後の職務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 森上 恵美香 氏
R2. 9. 2	15人 家庭裁判所 小倉支部 ウエルとばた	① 家庭裁判所の実際 ② 家庭裁判所見学 福岡家庭裁判所小倉支部 主任書記官 中山 誠一 氏

		③ 事例検討 (2) (高齢者に関して) 八幡東区統括支援センター 社会福祉士 宮嶋 雅代 氏 弁護士 河原 一雅 氏
R2. 9. 12	15人 ウェルとばた	① 後見人就任中の職務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 右田 和暉 氏 ② 事例検討 (3) (身上監護) リーガルサポート福岡支部 司法書士 大城 明恵 氏 司法書士 田代 洋平 氏 司法書士 椛島 浩二 氏
R2. 10. 3	15人 ウェルとばた	① 後見終了時の職務 リーガルサポート福岡支部 司法書士 恒松 史帆 氏 ② 事例検討 (4) (金銭管理・財産保護) リーガルサポート福岡支部 司法書士 田上 伸之 氏 司法書士 平原 嘉章 氏 司法書士 本多 寿之 氏
R2. 10. 17	15人 ウェルとばた	① 事例検討 (5) (精神障害者に関して) 一般社団法人 Q-ACT 北九州 相談員 佐藤 みずほ 氏 弁護士 河原 一雅 氏 ② 対人援助の基礎 (2) 社会福祉士 清水 博子 氏 ③ 市民後見人像 特定非営利活動法人 市民後見人の会・ながさき 理事長 岸部 誠 氏
R2. 9~10	14人 ウェルとばた	① 同行実習 (法人後見事業)
R2. 11~12	13人 施設	① 施設実習 (高齢者施設・障害者施設) ・高齢者施設実習 有限会社 故郷ふれあい家族 代表取締役社長 野村 美代子 氏 他 ・障害者施設実習 戸畑障害者地域活動センター センター長 原田 敦子 氏 他
R2. 2. 28	11人 ウェルとばた	① 閉講式 北九州市保健福祉局地域福祉部 長寿社会対策課

(3) 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内容
R2. 2. 28	北九州市市民 後見人養成研 修修了者 60人 ウェルとばた (内オンライン 受講6名)	① 講演 「意思決定支援をふまえた後見事務の実際」 講師：北九州市成年後見支援センター 社会福祉士 精神保健福祉士 安部 裕一 氏 ② 「北九州市社会貢献型市民後見人候補者名簿」 登録更新説明会

2 市民後見人支援事業

(1) 市民後見人の管理

- ① 市民後見人名簿の作成・更新
- ② 市民後見人受任案件の選定 (1件)
- ③ 市民後見人候補者の選定 (1件)
- ④ 市民後見人活動の手引きの作成
- ⑤ 市民後見人の交代に係る家庭裁判所への辞任・選任申立手続き (1件)

(2) 市民後見人の支援

- ① 後見監督人の受任 (1件)
- ② 市民後見人の支援 (1件)
 - 初回面談、活動の手引き等の配布、就任直後の支援
 - 家庭裁判所への報告書作成支援、賠償責任保険契約の締結
 - 相談対応(随時)、定期的な面談

◇ボランティア振興事業

1 福祉教育事業

青少年ボランティアステーションとの協働のもと、児童・生徒が、社会福祉施設やイベント等で、実際に「活動を共にする」ことにより、福祉への理解と社会参加の意識を高めることを目的とし、夏ボランティア体験学習を実施しています。新型コロナウイルス感染症対策のため、社会福祉施設での体験学習は中止し、不特定多数の人が密集しないよう、親子手話体験教室を開催しました。

実施日	人員・会場	内容
R2. 10. 18	9 家族 21 人 ウェルとばた	親子手話体験教室

過去 5 年実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2
参加人数	1, 713	1, 338	1, 724	2, 124	21
福祉施設体験	751	434	718	736	0
イベント参加等	962	904	1, 006	1, 388	21

2 ボランティアネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会と合同研修会を開催し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を広げています。

災害時の被災者支援に向けた取組みでは、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められるため、平成 27 年度からはより被災地に近い、区域での開催としてきましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、広く地域住民を集めての訓練は困難と判断し、協定締結団体や社協職員など、関係者向けの訓練を実施しました。

7 月には、熊本県を中心とした豪雨被害が発生し、県内でも久留米市と大牟田市で災害ボランティアセンターが開設されました。被災地に向かう市内の災害ボランティアに対し、新型コロナウイルス感染拡大下での活動に関する情報提供や、ボランティア活動保険の加入手続き等の支援を行いました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築

ア 中間支援組織連絡会の開催

実施日	参加団体・会場	内容
R2. 8. 26	6 団体 ウェルとばた	・各団体自己紹介 ・各団体情報交換
R2. 10. 28	5 団体 コムシティ	・各団体情報交換
R3. 12. 16	5 団体 ウェルとばた	・各団体情報交換
R3. 2. 17	資料配付のみ	・各団体情報交換

イ 中間支援組織連絡会合同研修会
(ボランティアコーディネーター研修と合同開催)

実施日	人員・会場	内容
R3. 3. 10	16人 ウェルとばた (オンライン開催)	「SDGs と豊かな未来社会に向けて」 講師：北九州市立大学 キャリアセンター 学生支援担当部長 木村 潤 氏

(2) 災害時の被災者支援に向けた取り組み
ア 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内容
R3. 2. 16	13人 ウェルとばた (オンライン開催)	北九州市危機管理室・保健福祉局、北九州青年会議所、連合福岡・北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会、エフコープ生活協同組合、北九州青年経営者会議	報告 ・各団体の取組状況について ・災害ボランティア登録者数について 協議 ・新型コロナウイルス感染拡大下での災害ボランティア活動について その他 ・次年度の取組について

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内容
R2. 11. 7	62人 (職員36人含) ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・講義 「近年の自然災害の特徴と発生状況について」 「2020年7月豪雨災害での災害VC活動について」、「災害VCの機能と役割」 ・報告 「災害VC派遣報告」 ・講義 「災害VC設置・運営について」 ・演習 「災害VCにおける広報活動について」 「クロスロード（災害対応カードゲーム）」 ・講義 「地域ニーズを効率的に把握するために」 「社会福祉協議会が進める『福祉救援体制づくり』について」 <p>講師・監修： 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 氏</p>

過去5年実績（職員数除く）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
回数	1	1	2	1	1
延べ参加者数	52	52	136	63	26

ウ 災害ボランティア登録状況

男性	女性	無回答	計
198	105	5	308

エ 災害時資機材整備

災害時資機材を若松競艇場倉庫に保管しており、その整備を登録ボランティアで実施しました。

実施日	人員・会場	内容
R2. 11. 14	13人 若松競艇場倉庫	若松競艇場倉庫に保管している災害時用簡易ベッドへ所有シールの貼付
R2. 11. 21	21人 若松競艇場倉庫	

3 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家具の移動等、自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

(1) シルバーひまわりサービス事業

高齢者の移動をボランティア活動により支えてきましたが、ボランティアや活動財源の確保など解決すべき課題も生じてきました。このような状況を踏まえ、「シルバーひまわりサービスあり方検討会」を開催し、事業の現状と課題を整理するとともに、利用者の利便性等、今後の改善点について協議しました。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、5月から7月にかけて運休したほか、再開後も飛沫防止対策、検温を行うなど、感染対策を徹底し運行しました。

ア ボランティア登録者数

区分	登録者	一回以上活動者	未活動者	活動率 (%)
労働組合員	136	28	108	20.6
行政職員	157	56	101	35.7
企業・市民	491	259	232	52.7
社協職員	105	40	65	38.1
合計	889	383	506	43.1

過去5年実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2
ボランティア登録者数	1,100	1,071	1,012	987	889

イ 利用延べ人数

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	本部	計
271	208	517	309	150	305	170	28	1,958

※本部では土曜の送迎を担当

ウ 目的別利用件数（1回の運行で複数の利用目的あり）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	17	0	0	0	157	179	208	171	185	154	131	146	1,348
福祉施設入所及び利用	0	0	0	0	3	3	1	1	3	0	1	2	14
買物・食事	7	0	0	0	84	86	90	81	90	52	56	58	604
理髪・入浴	0	0	0	0	7	4	9	7	9	3	2	5	46
観光・公共施設利用	2	0	0	0	37	31	44	28	38	23	23	31	257
合計	26	0	0	0	288	303	352	288	325	232	213	242	2,269

過去5年実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用延べ人数	4,108	3,987	4,397	4,114	1,958

エ シルバーひまわりサービスあり方検討会

実施日	人員・会場	内容
R2.12.17	10人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の趣旨について ・委員紹介 ・シルバーひまわりサービスの現状と課題
R3.1.29	9人 (オンライン開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーひまわりサービス事業の枠組みについて ・利用者の利便性及びボランティアのモチベーション向上について ・保険加入状況について
R3.3.2	10人 (オンライン開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送について ・保留事項の確認について ・今後の検討会について

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

家具の移動や電球交換など、生活上のちょっとした困りごとを解決することを目的に、平成7年度から本事業がスタートしました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の自粛が続きましたが、今後、感染状況を踏まえながら、市民のニーズに対応する予定です。

ア 活動内容別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大工(棚製作等)						1							1
窓、戸等の修繕					1								1
家具の移動等						1	1			1			3
包丁、鋏とぎ													
除草、庭木剪定													
清 掃												1	1
電気系統修理					1							1	2
水道系統修理					1								1
その他													
計					3	2	1			1		2	9

過去5年実績

年度	H28	H29	H30	R1	R2
実施件数	48	52	22	27	9

4 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」の加入手続きと加入促進の啓発を年間を通じ行っています。

(1) ボランティア活動保険加入取扱い事業

取扱件数			加入者数
団体加入		個人加入	
グループ数	人 員	人 員	
616	19,293	204	19,497

年度	H28	H29	H30	R1	R2
加入者数	24,556	24,676	23,972	22,858	19,497
グループ数	760	782	733	669	616

5 介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成25年度から実施しています。

65歳以上の北九州市民（介護保険第1号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州市地域福祉振興基金（ひまわり基金）に寄付することができます。本事業の活動場所は施設内が中心となるため、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けましたが、活動者の生きがいづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こし等も行いました。

(1) 受入施設登録状況（令和3年3月31日現在）

ア 登録施設 400 施設

イ 施設の種類の種類（併設を含む）

施設の種類の種類	施設数	施設の種類の種類	施設数
介護老人福祉施設	48	通所リハビリテーション	21
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	17	認知症対応型通所介護	21
介護老人保健施設	25	短期入所生活介護	44
介護療養型医療施設	3	看護小規模多機能型居宅介護	1
特定施設入居者生活介護	38	地域密着型通所介護	26
認知症対応型共同生活介護	88	北九州市予防給付型通所サービス	18
小規模多機能型居宅介護	37	北九州市生活支援型通所サービス	11
通所介護	177	居宅介護支援事業者	2
		合計	577

(2) ボランティア登録状況（令和3年3月31日現在） (人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	合計
男	32	107	135	98	50	422
女	150	519	526	309	141	1645
合計	182	626	661	407	191	2,067

(3) 換金・寄付申請状況（対象者：令和2年12月20日現在の登録ボランティア）

	換金	寄付 (ひまわり基金)	換金・寄付 (ひまわり基金)	合計
人数	220	213	6	439
金額	436,800	178,600	換金 13,500 寄付 5,300	634,200

※ボランティア活動実施者数（1回以上の活動者数） 674人

(令和2年1月～令和2年12月)

ボランティア活動延活動回数

5,035回

(令和2年1月～令和2年12月)

(4) 内容別ボランティア活動状況（令和2年4月～令和3年3月）

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション（趣味活動）等の補助	810
②芸能等の披露	32
③話し相手	95
④行事の手伝い	0
⑤食事介助の補助（お茶出し・配膳・下膳等）	282
⑥掃除・衣類整理の補助	69
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	157
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	840
合計	2,285

6 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

市民活動団体が実施する生きがい・健康づくりの場の運営に対して、助成及び助言等の支援を行うことにより、生きがい・健康づくりの場及び参加者を増やし、高齢者等の心身の健康及び住民同士の支えあいを推進することを目的として、平成30年10月から「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業」を開始しました。

令和2年度は、新たに校(地)区社協のサロンへも助成を実施し、助成対象数が飛躍的に増加しました。

(1) 助成にかかる審査

	申請数	助成対象	非対象
校(地)区社協のサロン	188	188	0
その他のサロン	63	63	0
計	251	251	0

過去3年実績

年度	H30	R1	R2
助成団体数	20	27	251

(2) 当初助成額

	助成団体数	当初助成額(円)	変更後助成額(円)
月4回以上の開催 (助成額50,000円)	63	3,150,000	2,979,239
月2回以上4回未満の開催 (助成額20,000円)	57	1,140,000	1,010,000
月1回以上2回未満の開催 (助成額10,000円)	124	1,240,000	1,072,710
その他の金額	7	200,000	189,600
計	251	5,730,000	5,251,549

※新型コロナウイルス感染症の影響で活動を中止または縮小したサロンは、活動状況に応じて当初の助成額を変更しました。

7 市民ふれあいフェスティバル事業（ボランティアウィーク2020）

全市的なボランティアの集いのイベントとして、実行委員会形式によりテーマを決定し、委員の企画・進行により開催しています。

令和2年度は、コロナ禍の中の新しい生活様式に則した事業とするとともに、人が集まって賑やかな従来の「フェスティバル」形式から、「学びと発信の場」をイメージした新たな啓発活動に刷新するため、名称も「ボランティアウィーク2020」と改称して開催しました。「パネル展示」、「おもちゃの修理」、「フードドライブ」等、例年実施している催しのほか、1週間に分散して中間支援組織や団体による複数の講座を開催、最終日には校(地)区社協や社会福祉施設等による活動報告、意見交換やコロナ時代での支え合いについて考える「ボランティアフォーラム」を行い、好評を博しました。パネル展示では11団体のボランティアグループ・関係団体が出展したほか、フードドライブでは392品の食品が集まり、各講座は延408名の方に参加いただきました。

(1) 実行委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 7. 8	14人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度実行委員会の取り組みについて ・令和元年度第4回実行委員会での検討課題について ・with コロナ時代の本年度の企画と催事の名称について
R2. 8. 7	18人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の経過報告について ・開催講座と役割等の決定について ・次年度の開催予定日について
R2. 10. 9	15人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・開催講座、イベント等の経過報告と役割分担について ・イベント等の各チラシとアンケートについて
R2. 12. 11	15人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告について ・次年度の検討課題について

(2) 催事内容

実施日	人員・会場	内容
R2. 10. 17 ～25	408人 ウエルとばた	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティアフォーラム（研修課「トップセミナー」として実施） <ul style="list-style-type: none"> ・校(地)区社協や社会福祉施設等による活動報告や意見交換 2 「ボランティア週間」（10月17日～10月25日）のイベント <ol style="list-style-type: none"> ①ボランティア・市民活動を紹介「パネル展示」 ②おもちゃの修理「おもちゃ病院」 ③食品を集める運動「フードドライブ」 ④中間支援組織や団体による各種の講座（別表）

別表 講座詳細

日時	講座名	参加人数
R2. 10. 19	世界が取り組む「SDGs」演劇とカードゲームで楽しく学ぼう！	28
	心穏やかな日々を過ごすためのボランティア活動	11
R2. 10. 20	うつとは？	21
	アングーマネジメント(イライラをコントロールする)	20
R2. 10. 21	ボランティアのためのやさしい日本語教室	10
R2. 10. 23	折紙でクリスマスを楽しもう！	29
R2. 10. 24	座って出来るフラダンス	22
	身近な生き物「昆虫」を学ぶ	18
R2. 10. 25	クップ体験会	44
	ボランティアフォーラム	205
合計		408

(3) 過年度の実施内容及び推移

年度	内容	場所	参加人数
H28	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ 福祉体験、多世代交流コーナー、ボラン ティア週間・被災地支援イベント	戸畑	4,702
H29	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ 福祉体験コーナー、ボランティア週間	戸畑	3,321
H30	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ 福祉体験コーナー、ボランティア週間	戸畑	4,243
R1	・活動発表コーナー、バザー、ミニステージ 福祉体験コーナー、ボランティア週間、被 災地の復興を支援するイベント	戸畑	2,509
R2	・ボランティアフォーラム、ボランティア週 間、各種講座	戸畑	408

8 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、啓発資料を作成するとともに、講演活動に取り組んでいます。併せて、北九州市社協だよりを活用し「企業の社会貢献活動」の紹介を行っています。

また、ボランティアコーディネーター間の情報交換や共有、スキルアップ等のため、ボランティアコーディネーター連絡会議を実施しています。

(1) 啓発資料の作成

発行時期	資料名	発行部数
R3. 3	ボランティアというカ・タ・チ	1,500

(2) 講演活動

実施回(うち出前講演)	人員(うち出前講演)
7(3)	258(170)

(3) 市社協だよりでの「企業の社会貢献活動」の紹介

発行時期	紹介企業	発行部数
R2.5	シャボン玉石けん株式会社	43,000
R2.8	吉川工業株式会社	//
R2.11	有限会社野口石油	//
R3.1	株式会社志道工務店	//

9 ボランティア活動支援

市民や施設等からのボランティア相談を来所または電話で受け付け、双方のニーズに見合うボランティアコーディネートを行っています。市社協ボランティアセンターでは、平日夜間と土曜日の開所も行い、平日日中の来所が難しい人へも対応しています。なお、以下の数値は、法人統合に伴い、市全体の数値に改めています。

(1) ボランティア活動に関する相談件数

項目	希望ボランティア		依頼ボランティア		会議室・機材貸出		保険		保険請求		送迎申込		コーディネート	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	172	309	140	185	429	337	1,347	564	40	152	173	5,271	2,905	5,186
	481		325		766		1,911		192		5,444		8,091	

項目	おまかせサービス 腕自慢		収集・リサイクル		養成講座 体験学習・		業務 ボランティア 連絡協議会		介護支援 ボランティア		その他		合計	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	27	135	712	118	67	206	252	361	102	333	642	1,395	7,033	14,587
	162		830		273		613		435		2,037		21,620	

(2) ボランティアコーディネーション

項目	外出支援	行事支援	文化・伝承 演劇等活動	施設活動	腕自慢	送迎	託児	その他	合計
件数	31	16	46	12	26	1,973	6	40	2,150
人員	70	127	134	25	27	4,059	7	58	4,507

◇社会福祉ボランティア大学校事業

研修課では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、高齢者、生活困窮者等様々な課題を抱えた人たちを支援するために、福祉の視点で地域コミュニティづくりに取り組む人材の養成・育成をめざした研修を実施し、今年度は延べ2,174人が研修を受講しました。

今年度も重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)区主導の基に地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を進め、地域住民による「地域単位での生活支援力」を高めていきました。あわせて、講座をきっかけとして、新たな活動の担い手の養成につなげました。

また、新たに区域展開とした「生活支援活動の担い手養成講座」は、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、先進校(地)区の活動報告を参考にし、自校区での活動を検討し、学ぶ、生きた研修となりました。

続いて、「北九州市内の企業における社会貢献活動に関するアンケート調査」の結果を検証、活用し、セミナーを通じて企業の社会貢献活動と地域や団体との連携の有用性を伝え、今後の活動に向けた支援を行ないました。

さらに、新型コロナウイルス感染症対応として、ICTを活用し、企業・社会福祉法人における社会貢献活動セミナーをはじめとした3つの研修について、オンライン研修を実施しました。

1 研修体系の区分別研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	118	9～10
ふくしのまちづくり講座	校区住民	16	2～4	28	860	7～3
計		17	—	33	978	—

※ふくしのまちづくり講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4校(地)区4回分を次年度に延期

(2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	10	1	10	193	8～11
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	176	10～3
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	100	11
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	2	1	2	205	10
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	70	11

	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	82	9~11
計			22	—	24	826	—

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送 運転協力者研修	福祉有償運送実施団 体で運転協力者を希 望する者	2 (1・2回 合同開催)	2	4	64 (うちセダ ン型3人)	11~3
	傾聴ボランティア 養成講座	市民	1	2	2	66	8
	私にもできる災害 ボランティア入門講座	市民	1	1	1	34	11
	生活支援活動の担い手 養成講座	市民	2	1	2	26	10~11
活動者	送迎ボランティア・ フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	16	9
	傾聴ボランティア・ フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	31	9
	災害ボランティア・ フォローアップ研修	災害ボランティア 入門講座受講者等	1	1	1	31	11
リーダー	ボランティア リーダー研修	リーダー 次期リーダー	1	1	1	15	10
計			10	—	13	283	—

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の 社会貢献活動セミナー (オンライン開催)	企業の社会貢献 活動担当者等	1	1	1	22	2
社会福祉法人の 社会貢献活動セミナー (オンライン開催)	社会福祉法人の 社会貢献活動担 当者等	1	1	1	27	3
計		2	2	2	49	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
実務者	ボランティア コーディネート研修 (2回の内オンライン開催1回)	施設・団体等で ボランティアコ ーディネーショ ンに関わる職員	2	1	2	38	10～3

2 調査・研究・広報

(1) 広報紙、パンフレット、事業報告の作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『北九州市社協だより』掲載)	172,000	令和2年5月1日・8月1日 11月1日・令和3年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500	令和2年4月2日
令和元年度事業報告書	HP掲載	令和2年7月28日

3 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数	延べ開催日数	参加実人数
H28	8	26	886
H29	12	39	1,208
H30	12	36	1,216
R1	13	34	1,152
R2	17	33	978

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年度	開催回数	延べ開催日数	参加実人数
H28	19	23	1,217
H29	19	21	1,185
H30	19	21	1,354
R1	19	21	1,363
R2	22	24	826

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数	延べ開催日数	参加実人数
H28	9	14	263
H29	12	16	340
H30	11	15	346
R1	10	14	365
R2	10	13	283

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年度	開催回数	延べ開催日数	参加実人数
H28	1	1	102
H29	2	2	69
H30	2	2	45
R1	1	1	20
R2	2	2	49

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年度	開催回数	延べ開催日数	参加実人数
H28	1	2	38
H29	1	1	32
H30	2	2	37
R1	2	2	33
R2	2	2	38

(6) 延べ研修参加人数

年度	開催回数	延べ開催日数	参加実人数
H28	38	66	2,506
H29	47	80	2,900
H30	46	76	2,998
R1	45	72	2,933
R2	53	74	2,174

◇北九州シニアネットワークアカデミー事業

1 周望学舎事業

周望学舎は「宿泊のできる年長者の研修施設」という要望に応えて、高齢者の生きがい対策と生涯学習という二つの性格を併せ持つ、元気な高齢者を対象とした施設として、全国に先駆けて昭和54年8月に設置されました。

発足当初は、老人クラブ指導者養成から趣味活動支援としての実技指導、さらに高齢者の生きがいづくりを主とした研修内容としていましたが、近年は地域活動・地域貢献をめざす活動者の育成にも力を注いでいます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、10月から後期のみ研修となりました。感染症対策を徹底したうえで、教養系・福祉系・健康系全15コースを実施し、応募者293人に対し、277人が半年間の研修コースを修了しました。社会福祉施設等の訪問等外部との交流が厳しく制限される中、オンライン授業を取り入れて大学生との交流を図るなど、自らの社会参加について幅広く考え、学び、行動するための新たな取り組みも始まりました。

(1) 応募状況の推移

年間コース		年度	H28	H29	H30	R1	R2
新人	男		45	41	31	30	11
	女		60	50	61	55	30
経験者	男		221	216	216	203	107
	女		285	278	294	298	145
合計			611	585	602	586	293
定員			546	546	546	546	546
応募倍率			1.12	1.07	1.10	1.07	0.54

(2) 研修生等(利用者)の推移

ア 全体的な傾向

年間コース利用者については、新型コロナ感染症の影響で後期のみ研修となったことから延べ5,152人となりました。また、研究クラブや同好会も研修コースに合わせて活動を再開しています。

年間コース		年度	H28	H29	H30	R1	R2
年間コース	コース数		15	15	15	15	15
	研修生数(延べ)		19,352	18,861	18,228	18,780	5,152
研究クラブ	グループ数		4	4	4	4	4
	利用者数(延べ)		2,555	2,319	2,473	2,000	595
同好会	グループ数		5	6	6	6	5
	利用者数(延べ)		1,233	1,555	1,654	1,699	613
利用者数(延べ)			33,367	31,976	30,831	29,855	8,541

イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーバンク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーバンク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

年度	H28	H29	H30	R1	R2
会員数					
シルバーバンク	342	317	342	242	295
同窓会	803	771	717	708	642

(3) 令和2年度研修実施状況

コース名	在籍者数	利用者数(延べ)			研修回数				
		男	女	合計	日帰	宿泊	合計		
年間コース	一般	地域ふれあい	17	130	173	303	20	0	20
		心と身体の健康	22	219	176	395	20	0	20
		健康づくりサポーター	24	148	265	413	20	0	20
		知っておきたい!世界の情報	10	116	74	190	20	0	20
		やさしいヨガと脳トレ	18	116	226	342	20	0	20
		ふるさとの文化	26	230	244	474	20	0	20
		生活情報	26	152	349	501	20	0	20
		歴史に学ぶ	25	172	306	478	20	0	20
		暮らしと環境	24	108	347	455	20	0	20
		健康管理	20	170	204	374	20	0	20
		体力増進	25	179	283	462	20	0	20
	実技	花と野菜づくり	8	96	66	162	20	0	20
		写真入門	8	40	115	155	20	0	20
		歌って健康	16	144	139	283	20	0	20
書道入門		8	69	96	165	20	0	20	
小計		277	2,089	3,063	5,152	300	0	300	
委員会・諸会議			55	26	81	4	0	4	
短期講座	パソコン	パソコン操作と初めてのワード	15	16	68	84	6	0	6
		Zoom入門	15	14	37	51	4	0	4
		はじめてのエクセル	13	34	42	76	6	0	6
		小計	43	64	147	211	16	0	16
	その他	生き生きピクス	9	6	44	50	6	0	6
		年長者と孫の集い	0	0	0	0	0	0	0
		一日体験講座	21	7	14	21	1	0	1
	小計		30	13	58	71	7	0	7
	カレンシア	西南女学院	0	0	0	0	0	0	0
		東筑紫	0	0	0	0	0	0	0
		北九州市立①	0	0	0	0	0	0	0
		北九州市立②	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0	0	0	0
研究クラブ	写真研究	27	110	86	196	11	0	11	
	書道研究	16	39	89	128	10	0	10	
	陶芸研究	12	41	40	81	12	0	12	
	花と野菜づくり研究	18	102	88	190	12	0	12	
	小計	73	292	303	595	45	0	45	

グループ名		在籍者数	利用者数（延べ）			活動回数			
			男	女	合計	日帰	宿泊	合計	
同好会	卓球	27	76	34	110	19	0	19	
	詩吟	16	27	31	58	10	0	10	
	風船バレー	12	131	98	229	17	0	17	
	社交ダンス	18	14	37	51	8	0	8	
	英会話	12	0	0	0	0	0	0	
	バドミントン	18	115	50	165	17	0	17	
	小計	103	363	250	613	71	0	71	
ボランティア	シルバーバンク		259	285	544	140	0	140	
	登録V○	園芸	24	199	199	398	22	0	22
		健康	48	66	47	113	13	0	13
		パソコン	10	64	20	84	19	0	19
		花の会	24	67	68	135	12	0	12
		グリーンボランティア	13	69	47	116	11	0	11
		小計（登録V○分）	113	465	381	846	77	0	77
同窓会（夢工房含む）			199	91	290	58	0	58	
穴生学舎			0	0	0	0	0	0	
その他の利用	視察・見学		6	0	6	2	0	2	
	研修		12	55	67	4	0	4	
	実習		0	0	0	0	0	0	
	ボランティア		9	1	10	5	0	5	
	その他の		37	18	55	8	0	8	
小計			64	74	138	19	0	19	
総合計			3,863	4,678	8,541	737	0	737	

(4) 周望学舎年間行事等

ア 修了記念作品展（写真コース・研究クラブ）

実施日	人員・会場	内容
R3. 2. 8 ～22	50人 小倉北生涯学 習センター	写真 学習成果発表 合計 50点展示

イ 一日体験入学

実施日	人員・会場	内容
R3. 1. 23	21人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「うた笑いエクササイズ」、「落語で笑って明るく健康」

ウ オンラインによる大学との連携講座

実施日	人員・会場	内容
R2. 11. 6 12. 17	2回 38人 九州歯科大・ 周望学舎	歯の健康について
R2. 12. 2	20人 北九州市立大・ 周望学舎	バーチャルまちあるき

行事名	内容
入学記念講演会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
スポーツ大会	
周望学舎大学祭	
修学旅行	
周望学舎・穴生学舎合同学習成果発表	
年長者と孫のつどい	
シニアカレッジ（大学活用型校外授業）	
大学との交流事業	
視察・見学	
実習生受入	

(5) 資料

香梅（令和2年度年間コース修了記念アルバム R3.2.12 300部発行）

(6) 広報

研修生の手作りによる新聞の発行

・「周望」カラー 見開 8ページ 2,000部 1回/年

(7) コース委員長会議（15コース）

実施日	人員・会場	内容
R2.10.15	委員27人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ・正副代表選出について ・自家用車通学と交通安全ボランティアについて ・施設賠償責任保険契約及び傷害保険について ・令和2年度周望学舎在籍状況について ・令和2年度年間コース修了アンケートについて
R3.1.27	委員16人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ・修了式について ・令和3年度研修生募集について ・年間コース修了アルバム「香梅」について ・年間コース修了・利用者アンケートについて

(8) 各種会議（三大大行事等）（会場：周望学舎）

会議名	人員(延べ)	回数
新聞編集委員会	研修生 38人	2

(9) バスの運行

研修生送迎の他、全コースの校外授業においてスクールバスを活用し中型バスで464回、533時間の運行を行いました。

(10) 周望学舎同窓会

ア 会員数 642人

イ 支部活動(人)

支部名				
門司支部	小倉北支部	小倉南支部	戸畑・若松支部	八幡支部
115	200	210	65	52
<活動内容>				
・ボランティア活動、役員会等				

(11) 周望学舎シルバーバンク

ア 会員数 16サークル

預託会員 124人

賛助会員 171人 (令和3年3月3日時点)

イ 支部 門司・小倉北・小倉南・若戸・八幡

ウ サークル活動

	サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所と活動日
伝承グループ	創作折り紙	17	福祉施設、児童館、小学校等での折り紙指導	周望学舎、福祉施設 (研修日 毎月第2・4水曜日)
	竹の会	10	竹細工、竹トンボ、竹笛 水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター、小学校 イベント会場等 (研修日 隔週水曜日)
	読み聞かせ	4	福祉施設等で 本の読み聞かせ・紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ (毎週木曜日)その他施設等
	昔遊び	8	コマ回し、皿回し等の 昔遊びを伝承する	市民センター、小学校 イベント会場等(不定期)
友愛グループ	椿会	1	福祉施設での生け花の指導・ 洗濯物の整理等	シルバーサンホーム (第2.4水曜日午後)
	マジック	1	福祉施設訪問 マジック披露	福祉施設、イベント会場 (不定期)
	ハーモニカ	15	福祉施設訪問・ハーモニカ演奏	福祉施設、イベント会場 (研修日 第1・3木曜日)
	遊書会	13	福祉施設に於いて習字指導	北九州シティホーム (毎月第3木曜日)
	すみれ会	1	福祉施設訪問 フラダンス実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週月曜日)
	周和会	6	福祉施設訪問 日本舞踊実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週金曜日)
	子育て支援	15	昔遊び伝承 託児スタッフ	市民センター イベント会場等(不定期)
	ひまわりの会	21	福祉施設での介護・雑事支援	福祉施設等
	オレンジの会	11	認知症及びその家族支援・介護 予防等支援補助活動	市総合保健福祉センターア シスト21カフェ・オレンジ

[穴生学舎]

(1) 応募状況の推移

区分		年度	H28	H29	H30	R1	R2
新人	男		35	30	31	34	16
	女		49	60	37	39	26
	計		84	90	68	73	42
経験者	男		177	174	180	178	100
	女		181	177	193	188	108
	計		358	351	373	366	208
合計			484	442	441	439	250

※令和2年度は前期休講のため後期のみ

(2) 研修生の推移 (年間コース・研究クラブ・同好会)

分類		年度	H28	H29	H30	R1	R2
年間 コース	コース数		15	15	15	15	15
	研修生数(延べ)		15,381	15,321	16,458	15,097	4,261
研究 クラブ	グループ数		7	7	7	7	7
	利用者数(延べ)		2,529	2,653	2,600	2,404	1,138
同好会	グループ数		0	0	0	0	0
	利用者数(延べ)		0	0	0	0	0

(3) 研修実施状況

コース名		在籍 者数	利用者数(延べ)			研修回数		
			男	女	計	宿泊	日帰り	計
年間 コース	地域ふれあい	17	157	163	320	0	20	20
	健康づくりサポーター	14	156	97	253	0	20	20
	心と身体の健康	23	214	164	378	0	20	20
	歴史に学ぶ	26	255	199	454	0	20	20
	アジアを学ぶ	11	107	86	193	0	20	20
	文化伝承	15	36	230	266	0	20	20
	国際情報	10	78	90	168	0	20	20
	健康管理	19	147	207	354	0	20	20
	シニアライフデザイン	21	216	137	353	0	20	20
	健康スポーツ	21	190	206	396	0	20	20
	郷土のなりたち	26	218	245	463	0	20	20
	実用書道	13	136	108	244	0	20	20
	絵画入門	6	58	49	107	0	20	20
英会話	7	37	108	145	0	20	20	

	写真入門	9	58	109	167	0	20	20	
	小 計	238	2,063	2,198	4,261	0	300	300	
短期講座	パソコン系講座	51	165	206	371	0	22	22	
	自主講座	0	0	0	0	0	0	0	
	公開講座	38	22	16	38	0	1	1	
	一日体験講座	36	12	24	36	0	2	2	
	シニアサマーカレッジ	0	0	0	0	0	0	0	
	シニアカレッジ	38	130	143	273	0	8	8	
	小 計	163	329	389	718	0	33	33	
研究クラブ	書道	8	33	39	72	0	12	12	
	写真	写輪会	16	45	40	85	0	9	9
		写一会	17	73	50	123	0	14	14
	絵画	絵楽会	12	127	71	198	0	23	23
		かがやき	14	147	77	224	0	20	20
	英会話	英研 30 会	13	62	180	242	0	22	22
		英研 01 会	11	88	106	194	0	22	22
	小 計	91	575	563	1,138	0	122	122	
	ボランティア活動		-	-	-	1,594	0	263	263
	その他の活動 (会議室の利用等)		-	-	-	1,321	0	42	42
合 計		492	2,967	3,150	9,032	0	760	760	

(4) 年間行事等

ア 公開講座

実施日	人員・会場	内容
R3.2.6	38 人 穴生学舎	テーマ：身近な運河 堀川の真実 講 師：歴史愛好家 三浦 明彦 氏

イ 校外授業「シニアカレッジ」

実施回数	連携先の大学 会場	参加者数	参加人員(延べ)	内容
	九州国際大学 八幡西生涯学習 総合センター			

ウ 一日体験講座

実施日	人員・会場	内容
R2. 12. 12	17人 穴生学舎	① テーマ：発酵食品と健康のかかわり 講師：北九州市立大学 農学博士 教授 森田 洋 氏 ② テーマ：あなたは日本の事がはなせますか 講師：岡田宮 宮司 波多野 直之 氏
R3. 1. 16	19人 穴生学舎	① テーマ：老人ホームに入らなくても済むための生き方 講師：介護ぷらす 山川 仁 氏 ② テーマ：公害の歴史～なぜ北九州市が環境都市となったのか～ 講師：北九州市環境ミュージアム 本田 千尋 氏

エ 資料の発行

資料名	発行部数	発行日
学舎案内	400	R2. 10. 1
入学案内	5,800	R3. 1. 15
薫風(穴生学舎修了記念文集)	0	—

オ 地域開放事業

部屋名等	使用回数	使用人員	備考
図書の貸出	開館日数 99日 貸出冊数 336冊	貸出人数 214 図書室利用者 776	・研修生及び一般市民
大会議室	3	81	・コース委員長会議 等
A B会議室	14	242	・穴生ドーム抽選会 等
研修室	12	123	・いきがい活動ステーション 等
調理室	0	0	
和 室	0	0	
ボランティアルーム 交流サロン	15	99	・夢追塾同窓会 等
その他	0	0	
計	143	1,321	

カ 各種会議

会議名	回数	出席人員(延べ)	備考
コース委員長会議	2	27	—
スポーツ大会実行委員会	0	0	—
大学祭実行委員会	0	0	—
修学旅行実行委員会	0	0	—
新聞編集委員会	0	0	—
ボランティア・研究クラブ連絡会議	0	0	

ボランティアグループ連絡協議会	1	16	ボランティアグループ相互の意見交換
ボランティアグループ連絡協議会役員会	1	9	令和2年度役員から令和3年度役員への引継ぎ等
研究クラブ連絡会議	0	0	

行事名	内容
入学式	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ふれあいスポーツ大会	
穴生学舎大学祭&ドームフェスタ	
修学旅行	
修了記念作品展	
周望学舎・穴生学舎合同学習成果発表	
地域、世代間交流・子育て支援事業	

[穴生ドーム]

(1) 穴生ドーム利用状況

区分		年間利用人員	1日平均(人)	比率(%)
早朝利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	1,042	4	35.5
	テニス	1,892	8	64.5
	ニュースポーツ	0	0	0.0
個人利用	ゲートボール	0	0	0.0
	グラウンドゴルフ	1,077	4	6.3
	テニス	16,145	65	93.7
	ニュースポーツ	0	0	0.0
専用利用	ゲートボール	136	1	1.0
	グラウンドゴルフ	2,084	8	14.9
	テニス	7,035	28	50.4
	ニュースポーツ	2,327	9	16.7
	その他	2,374	10	17.0
周望・穴生学舎体育授業		494	2	1.3
会議室・観覧席・その他の利用		95	0	0.3
自主事業		643	3	1.7
屋外コート		296	1	0.8
ウォーキング		1,857	7	5.0
合計		37,497	151	100.0
開館日数		248		

※4月1日から5月24日、5月27日、5月31日から6月18日まで休館

*種目別利用者人員

項目	年間利用人員	1日平均(人)	比率(%)
ゲートボール	136	0.5	0.4
グラウンドゴルフ	4,203	16.9	11.2
テニス	25,072	101.1	66.9
ニュースポーツ	2,327	9.4	6.2
イベント	2,374	9.6	6.3
屋外・体育授業・その他	3,385	13.6	9.0

(2) 穴生ドーム年間利用者数の推移

年度	H28	H29	H30	R1	R2
年間利用者数(人)	120,574	125,208	120,597	106,836	37,497

(3) 穴生ドーム目的別利用者数の推移

利用目的	H28	H29	H30	R1	R2
ゲートボール	2,400	2,388	2,122	1,624	136
グラウンドゴルフ	17,272	16,933	15,719	12,077	4,203
テニス	46,175	46,419	47,272	43,495	25,072
ニュースポーツ	10,582	11,211	8,383	6,872	2,327
イベント	19,927	21,186	21,531	18,659	2,374
学舎授業・自主事業等	24,218	27,071	25,570	24,109	3,385
合計	120,574	125,208	120,597	106,836	37,497

(4) 穴生ドーム自主事業参加者数の推移

事業名	H28	H29	H30	R1	R2
ニュースポーツ出前事業	1,646	1,191	1,305	1,115	171
健康ウォーキング	12,959	12,141	10,854	10,021	1,857
ニュースポーツ無料開放	572	436	285	335	117

(5) 穴生ドームテニス教室(初級)

回数	人員	内容
10	226	ラケットに慣れる、ボールのバウンドに慣れる、フットワークを覚える、打点の位置を覚える等

(6) 穴生ドームテニス教室(中級)

回数	人員	内容
6	130	試合でのマナーや動きを覚えよう、ダブルスで試合を行う。

(7) 穴生ドーム高齢者の健康づくり事業

ア ニュースポーツ出前体験

回数	人員	内容
8	171	出前講演方式によりニュースポーツを体験していただき、健康づくりを促進する。

イ 健康ウォーキング

回数	人員	内容
130	1,857	ドームの2階通路を無料開放し、安全かつ自分のペースで気軽に取り組める運動であるウォーキングを行う機会を提供。生活習慣病の予防に取り組んでいただく。

ウ ニュースポーツ無料開放

回数	人員	内容
5	117	ドームを無料開放し、市民の方々に気軽に身体を動かせる機会を提供し、ニュースポーツの体験を通じて、健康・体力づくりや多世代間交流・仲間づくりに取り組む。

行事名	内容
穴生ドーム主催イベント及び大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ニュースポーツの振興に伴う高齢者のスポーツ大会	
郊外ウォーキング	

3 地域活動情報支援センター

(1) ボランティアグループ活動報告

	周望				穴生			
	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数	活動者数 (延べ)	男	女	活動回数
4月	20	19	1	9	0	0	0	0
5月	45	28	17	8	0	0	0	0
6月	95	51	44	11	0	0	0	0
7月	68	44	24	11	91	44	47	34
8月	75	47	28	11	104	55	49	30
9月	146	91	55	14	144	67	77	42
10月	130	73	57	15	310	106	204	77
11月	212	107	105	21	263	100	163	73
12月	129	73	56	18	254	97	157	72
1月	99	56	43	14	190	68	122	57
2月	133	78	55	21	219	91	128	61
3月	113	58	55	11	210	104	106	59
年間合計	1,265	725	540	164	1,785	732	1,053	505

(2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数		備考
	周望	穴生	
ボランティア活動体験受け入れ先に関すること	6	0	北九州シティホーム、シルバーサンホーム、パレス三萩野等
関係機関との相談・依頼	1	3	市ボランティア・市民活動センター、各区ボランティア・市民活動センター
外部施設・団体からのボランティア相談	0	1	NPO法人帆柱自然公園愛護会
ボランティアグループへの活動依頼	4	1	市内高齢者施設、病院等
ボランティアグループからの活動相談	12	1	助成金、体験教室、会員募集
ボランティアグループ以外からの依頼	1	0	クラブのボランティア活動の日程調整等
研修生・修了生・OB会からの相談	0	4	グループ入会、活動先の相談
一般の方からの相談	0	6	ボランティアグループの相談、見学
ボランティア活動や打ち合わせに同行	1	2	ボランティア活動体験、ボランティア活動への同行・引率・当日調整・現状把握
その他	0	46	研修コース講義、コーディネーター会議出席、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応のための連絡
合計件数	25	64	

(3) 年間行事等

行事名	内容
ロビーコンサート	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
みんなの保健室	
シニアと孫の夏休みin穴生学舎	
傾聴ボランティア入門講座	
園芸入門講座	
楽しいマジック入門講座	
読み聞かせ入門講座	
穴生学舎ボランティアグループふれあい交流会	
広報紙の発行	

◇常設委員会

1 生活福祉資金調査委員会：申請0件のため開催なし

2 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 12. 11	7人 ウェルとばた	1 委員長の選任について 2 令和元年度事業報告について 3 令和3年度事業計画（案）について

3 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 6. 27	中止	正・副委員長の意見を反映した上で資料を送付
R2. 8. 21	15人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・新任委員紹介 ・令和2年度の運営委員会の取り組みについて ・令和元年度ボランティア・市民活動センター事業報告及び令和2年度事業計画について ・令和3年度事業方針作成にかかる意見聴取について ・市内の企業における社会貢献活動に関するアンケート調査報告書について ・北九州市地域福祉活動第六次計画の策定と策定に関する意見聴取について
R2. 12. 18	18人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・当センターにおける今年度の主要事業について ・北九州市地域福祉活動第六次計画(案)について ・令和3年度ボランティア・市民活動センター事業計画(案)について ・運営委員会委員の任期について

4 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会：開催なし

5 総合企画委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 8. 3	16人 ウェルとばた	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度 総合企画委員会の取り組みについて 2 近年の地域福祉の動向と地域福祉活動計画の意義について 3 北九州市地域福祉活動第五次計画に基づく令和元年度(4年次)事業の点検・評価 4 北九州市地域福祉活動第六次計画の策定及び方針について 5 北九州市地域福祉活動第六次計画策定に関する意見聴取について

R2. 12. 7	19人 ウエルとばた	1 北九州市地域福祉活動第六次計画の素案について 2 北九州市地域福祉活動第六次計画の今後の策定スケジュールについて
R3. 2. 9 ～2. 17	20人 文書審議	1 北九州市地域福祉活動第六次計画の策定について 2 計画の名称について 3 北九州市社会福祉協議会令和3年度の事業計画(案)について

6 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 4. 15	5人 文書審議	・法人後見事業 受任検討について
R2. 7. 1	5人 ウエルとばた	・令和元年度 事業実施状況について ・令和2年度 事業計画について ・市民後見人支援事業について(進捗状況) ・法人後見事業 受任検討について ・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について ・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について ・令和2年度 会計監査について(会計監査員選出)
R2. 8. 5	5人 文書審議	・法人後見事業 受任検討について
R2. 9. 2	5人 文書審議	・令和2年度 会計監査について(結果報告) ・らいと開設20周年記念権利擁護セミナーについて ・法人後見事業 受任検討について ・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について
R2. 10. 21	5人 ウエルとばた	・令和2年度 会計監査について(結果報告) ・第9回権利擁護・市民後見センター運用委員会(文書審議)の結果について ・市民後見人支援事業の進捗状況について ・らいと開設20周年記念権利擁護セミナーについて ・令和2年度上半期(4月～9月)事業実施状況について ・法人後見事業 受任検討について ・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について ・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について ・令和2年度福岡県運営適正化委員会による日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)に対する現地調査について
R2. 12. 2	5人 ウエルとばた	・法人後見事業・地域福祉権利擁護事業の実施状況について ・市民後見人支援事業の進捗状況について ・らいと開設20周年記念権利擁護セミナーについて ・令和2年度 福岡県運営適正化委員会による日常生活

		<p>自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）に対する現地調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業 受任検討について ・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について ・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について ・任期満了に伴う次期委員の推薦について
R2. 12. 16	4人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業・地域福祉権利擁護事業の実施状況について ・法人後見事業 受任検討について ・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について ・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について
R3. 3. 17	5人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業・地域福祉権利擁護事業の実施状況について ・北九州市社会貢献型市民後見人養成事業 フォローアップ研修について ・法人後見事業 受任検討について ・地域福祉権利擁護事業 新規契約検討について ・法人後見事業及び地域福祉権利擁護事業における処遇困難事例について ・令和3年度運用委員会日程について
計8回		<p>法人後見受任審査人数 5人 内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者 3人(後見3人、保佐0人、補助0人) ・知的障害者 1人(後見0人、保佐1人、補助0人) ・精神障害者 1人(後見1人、保佐0人、補助0人)

7 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 11. 6	3人 ウエルとばた	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度北九州市社会福祉大会記念式典の中止について 2 被表彰候補者の審査・答申について

門司区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 5. 27	30 人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について
R3. 2. 3	29 人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業計画について 令和3年度収支予算について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 7. 21	40 人 門司生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいネットワーク活動推進事業について サロン事業について 次世代地域福祉活動者育成事業について 地域福祉人材育成等のための研修について 令和2年度「健康マイレージ事業」について 北九州市社協令和2年度賛助会員加入のお願いについて
R3. 2. 9	21 人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度ふれあいネットワーク活動推進事業等実績報告・精算について 令和3年度ふれあいネットワーク活動推進事業等申請について 各種案内

(3) 区社協だよりの発行

年3回 39,000部/回 年間117,000部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
35	310,000	247	247,000	282	557,000

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	4	623,000
篤志寄付金	7	65,870
計	11	688,870

(6) 無料又は低額診療券発行 新規6件 (継続分は掖済会病院にて対応)

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 730枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
門司区老人クラブ連合会	180,000
門司区シルバーふるさとまつり区実行委員会	0
門司区身体障害者福祉協会	70,000
門司区婦人会連絡協議会	65,000
門司区ボランティア連絡協議会	40,000
門司区民生委員児童委員協議会	98,000
門司区子ども会連合会	21,000
門司区青少年育成協議会連合会	50,000
門司警察署少年補導員連絡会	36,000
計 (9 団体)	560,000

(3) 校区社協活動費助成

校区数	助成金額
21 校区	1,143,000

(4) 火災被害世帯への見舞品等の支給

支給件数
—

3 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・役員会の開催 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
- 総会 (書面開催)、門司レトロ地区他清掃活動2回

◇小倉北区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 5. 25	38人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について 賛助会員の加入・会費納入のお願い
R3. 2. 24	38人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業計画について 令和3年度収支予算について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 8. 8	42人 男女共同参画 センタームーブ ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議と 合同開催	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいネットワーク活動推進事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナウイルス感染拡大に伴う助成金の変更・取下げについて ② 中間報告書の提出について 地域生活支援活動推進事業について 地域包括ケアシステムの構築に向けた校区の「作戦会議」(協議体)について 校(地)区社協活動における健康マイレージ事業の活用について 今後の社協関係研修・事業等について その他
R3. 2. 27	44人 男女共同参画 センタームーブ ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議と 合同開催	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいネットワーク活動推進事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ① 令和2年度活動事業報告について ② 令和3年度助成金申請について 地域包括ケアシステムの構築に向けた校区の「作戦会議」(協議体)について 小地域福祉活動計画の策定について 今後の社協関係研修・事業等について その他

(3) 区社協だより(区ボランティア・市民活動センターだより)の発行
年4回 70,000部/回 年間280,000部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
42	550,000	489	513,000	531	1,063,000

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	4	170,000
篤志寄付金	27	1,247,137
計	31	1,417,137

(6) 無料又は低額診療券発行 2件

2 共同募金配分金事業

(1) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉北区シニアサークル連合会	40,000
小倉北区身体障害者福祉協会	250,000
小倉北区子ども会育成協議会	200,000
小倉北区青少年育成会協議会	90,000
小倉北警察署少年補導員連絡会	40,000
北九州市母子寡婦福祉会小倉北地区	120,000
小倉北区民生委員児童委員協議会	340,000
小倉南北区遺族連合会	40,000
小さな親切運動北九州市本部	40,000
小倉北保護区保護司会	65,000
小倉北区子どもまつり実行委員会	0
小倉北区 各校(地)区自治連合会	307,160
計 (35 団体)	1,532,160

(2) 災害弔慰金・見舞金支給事業

団体名	助成金額
見舞金 (4 件)	12,000
弔慰金 (0 件)	0
計 (4 件)	12,000

(3) 地域たすけあい見舞金配分事業

団体名	助成金額
小倉北区 各校(地)区自治連合会	253,070
北九州市点訳音訳ボランティア連絡協議会	20,000
心臓病の子どもを守る会	20,000
わかば会 (旧 糖尿病患者を守る会)	20,000
計 (28 団体)	313,070

(4) その他事業

- ① 地域交流・リフレッシュ事業（地域福祉活動者の交流事業）
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ② 愛メール21事業（点字年賀状送付事業）

実施日	人員	内容
R2.12～ R3.1	22人	小倉北区内在住の視覚障害者への点字年賀状の送付

3 収益事業

内容	金額
自動販売機設置（7台）	688,373

4 その他事業

- (1) 区事務所運営事業
- ・小倉北区子どもまつり協賛事業
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◇小倉南区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R3. 2. 25	10 人 小倉南生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について ・チャリティ事業の実施について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 5. 29	37/41 人 文書審議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について
R3. 3. 5	40/41 人 文書審議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 9. 11	26 人 小倉南生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・健康マイレージ事業の活用について ・校(地)区社協関連事業について
R3. 2. 21	27 人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・健康マイレージ事業の活用について ・校(地)区社協関連事業について ・ボランティア活動保険の加入について ・令和3年度主な年間行事等

(4) 区社協だよりの発行

年4回 60,000部/回 年間240,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
30	593,000	27	75,000	57	668,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	7	283,000
篤志寄付金	6	256,001
計	13	539,001

(7) 年長者・障害者作品展
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(8) 無料又は低額診療券発行 3件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈
小学校 26 校・1,982 人、特別支援学校 2 校・31 人、計 2,013 人

(2) 障害児(者)ふれあいバスハイク
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉南区子どもまつり事業	50,000
まつりみなみ協賛金	30,000
社会を明るくする運動協賛費	50,000
年長者福祉大会	30,000
小倉南区老人クラブ連合会	20,000
北九州市保育所連盟小倉南支部	20,000
小倉南保護区保護司会	20,000
北九州市母子寡婦福祉会小倉南地区	20,000
計 (4 団体、4 事業)	240,000

(4) 災害見舞金事業

内容	件数	金額
災害被災世帯への見舞金	12	60,000

3 収益事業

区分	金額
自動販売機設置 (21 台)	2,325,073

4 その他事業

(1) 区事務所運営事業
・運営委員会委員・校(地)区社協役員視察研修
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◇若松区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 5. 22	24人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について
R3. 2. 19	24人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業計画について 令和3年度収支予算について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 7. 28 ～8. 20	各1～15人 各地域	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市社会福祉協議会賛助会員の募集について 校(地)区社協活動における健康マイレージ事業の活用について ふれあいネットワーク事業助成金(上半期)および令和元年度事業推進状況資料について等
R3. 2. 8 ～19	各1～8人 各地域	<ul style="list-style-type: none"> 健康マイレージ事業について 令和2年度ふれあいネットワーク活動推進事業実績報告について 令和3年度ふれあいネットワーク活動推進事業助成金申請について等

(3) 区社協だよりの発行

年3回 27,000部/回 年間81,000部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
9	146,000	92	165,950	101	311,950

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	9	381,000
篤志寄付金	14	484,235
計	23	865,235

(6) 年長者・障害者作品展

開催期間	内容
R2. 11. 16～R3. 2. 28	オンライン開催（出展数 181 点、出展者数 382 人）

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 875 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
母子寡婦福祉会	130,000
公民館連合会	75,000
青少年育成協議会	74,150
身体障害者福祉協会	100,000
警察署少年補導員	25,000
ボランティア連絡協議会	30,000
計（6 団体）	434,150

※事務所運営事業より、市民防災会連合会・社会を明るくする運動の各団体に計 53,600 円助成を実施。

(3) その他事業

実施日	人員・会場	内容
R2. 9 ～R2. 11	41 件 若松区内	敬老行事補助金の助成 ※ (対象者 1 名につき、200 円の助成)
R2. 12 ～R3. 1	9 件 若松区内	歳末見舞金の配布

※敬老行事補助金については、事務所運営事業と折半して助成を実施。

3 収益事業

内容	金額
自動販売機設置（5 台）	1,036,031

4 その他事業

(1) 区事務所運営事業

- ・年長者いこいの家運営助成金の支出（17 カ所 各 10,000 円）

(2) ボランティア連絡協議会への支援

- ・各種会議の開催（役員会 5 回、代表者会 4 回）
総会、福祉とボランティアの集い、主催事業の実施支援、ボランティア養成講座（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- ・年長者・障害者作品展でのボランティア団体紹介ページの設置
- ・ボランティアウィーク 2020 での講座協力（「座ってできるボランティア」）

◇八幡東区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R3. 2. 17	5人 八幡東区社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 5. 19	17人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について
R3. 2. 25	13人 八幡東区社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R3. 2. 5	21人 八幡東区社会福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 ふれあいネットワーク活動推進事業 実績報告書について 等

(4) 区社協だよりの発行

年4回 24,000部/回 年間96,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
28	334,000	17	56,000	45	390,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	6	248,000
篤志寄付金	7	191,809
計	13	439,809

(7) 年長者・障害者作品展

八幡東区社協だより (R3. 1. 15号) に8施設の作品紹介

(8) 無料又は低額診療券発行 5件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 541 枚

(2) 障害児(者)リフレッシュ事業

実施日	人員	内容
R3. 3. 13	21	音つむぎコンサート

(3) ひとり親家庭ふれあいバスハイク
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡保護区保護司会	50,000
母子寡婦福祉会八幡東地区	50,000
八幡東区青少年育成会協議会	85,459
「小さな親切」運動八幡東区支部	30,000
八幡東防犯協会連合会	50,000
皿倉山健康ウォーク実行委員会	100,000
市民センター (11 館)	550,000
子育て支援団体 (2 団体)	90,000
計 (19 団体)	1,005,459

3 収益事業

内容	金額
健康増進機器使用料収入	178,000
自動販売機設置 (1 台)	34,691

4 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援
・ 定例会の開催 4 回、主催事業の実施支援 1 回

◇八幡西区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R3. 2. 18	4人 八幡西区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による八幡西区社会福祉協議会の対応について ・北九州市地域福祉活動第六次計画の進捗状況について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 5. 29	14人 文書審議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について
R3. 3. 2	11人 (内オンライン出席2人) 八幡西区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による八幡西区社会福祉協議会の対応について ・北九州市地域福祉活動第六次計画の進捗状況について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 6. 19	36人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・研修等事業案内 他
R2. 9. 17	36人 八幡西区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動への協力について ・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・研修等事業案内 他
R3. 1. 20	36人 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・総合企画委員会について 他

(4) 区社協だよりの発行

年4回 80,000部/回 年間320,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
87	871,000	1,679	1,963,000	1,766	2,834,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	47	665,208
篤志寄付金	25	797,565
計	72	1,462,773

(7) 年長者・障害者作品展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(8) 無料又は低額診療券発行 1件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 2,181枚

(2) 障害(児)者ふれあいバスハイク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡西区シニアクラブ連合会	70,000
八幡西区ささえあいネットワーク 推進協議会	0
八幡西区身体障害者福祉協会	70,000
八幡西区青少年育成会協議会	12,500
八幡西地区学校警察連絡協議会	25,000
八幡西子ども会育成連絡協議会	170,000
八幡西区子どもまつり実行委員会	0
北九州市母子寡婦福祉会八幡西地区	50,000
八幡西区愛の献血推進協議会	50,000
北九州市八幡西区遺族連合会	18,000
八幡保護区保護司会	100,000
計(9団体)	565,500

(4) その他事業

実施日	人員・会場	内容
R2.12.18	1,879人	・歳末たすけあい見舞品(学用品等)の贈呈 ・贈呈式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 収益事業

内容	金額
自動販売機設置 (1 台)	100,592

4 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・役員会の開催 (6 回)、定例会の開催 (1 回)、ボランティアウィークでの折り紙講座の開催 (1 回)
交流会、ボランティア養成講座の開催、バス研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

◇戸畑区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R3. 2. 4	8人 戸畑区役所	・第2回戸畑区社会福祉協議会運営委員会について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R2. 6. 17	22人 書面開催	・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算について
R3. 3. 17	22人 書面開催	・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R2. 7. 27	29人 戸畑区役所	・新型コロナウイルス感染拡大防止と校(地)区社協活動の両立について ・サロン活動の現状について ・ふれあいネットワーク活動推進事業について ・研修等事業案内他
R2. 10. 22	19人 戸畑区役所	・令和2年度地域歳末事業助成金交付申請書等の提出について ・赤い羽根共同募金運動について ・社協研修事業について ・研修等事業案内他
R2. 12. 17	17人 戸畑区役所	・令和2年度地域歳末事業助成金実績報告書について ・令和2年度ふれあいネットワーク活動推進事業助成金について ・研修等事業案内他
R3. 2. 19	18人 書面開催	・令和2年度ふれあいネットワーク活動推進事業実績報告について ・令和3年度ふれあいネットワーク活動推進事業について ・住民主体の生きがい・健康づくりの場推進事業(サロン活動)について ・校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりについて ・研修等事業案内他

(4) 区社協だよりの発行
年2回 19,000部/回 年間 38,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	10,000	176	183,000	177	193,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	1	30,000
篤志寄付金	21	125,226
計	22	155,226

(7) 年長者・障害者作品展
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 426枚

(2) 障害児(者)ふれあいバスハイク
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
戸畑区老人クラブ連合会	54,000
戸畑区子ども会連合会	64,000
戸畑区青少年育成協議会	21,000
北九州市母子寡婦福祉会戸畑地区	57,000
戸畑区民生委員児童委員協議会	90,000
戸畑区保護区保護司会	21,000
各年長者いこいの家運営委員会(14団体)	140,000
各地区社会福祉協議会(14地区)	420,000
計(34団体)	867,000

3 収益事業

内 容	金 額
駐車場賃借料収入	977,496
自動販売機設置（4台）	316,160

4 その他事業

（1）区事務所運営事業

- ・とばた菖蒲まつり 2020 福祉バザー出店
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（2）ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例会の開催3回、総会の開催支援
- ・赤い羽根仕分け、袋詰め作業
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止